

## 11.11. 植物

### 11.11.1. 道路（地表式、嵩上式、地下式）の存在、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、トンネル工事の実施に係る植物

#### (1) 調査結果の概要

##### 1) 調査した情報

調査項目は、以下のとおりとしました。

##### (A) 植物相及び植生の状況

##### (B) 重要な種及び群落等の状況

- ・重要な種及び群落等の生態
- ・重要な種及び群落等の分布状況
- ・重要な種及び群落等の生育状況
- ・重要な種及び群落等の生育環境（土壤含む）の状況

#### 2) 調査の手法

##### (A) 植物相及び植生の状況

植物相及び植生の状況の調査の手法は、既存資料調査及び現地調査としました。既存資料調査は、文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理により行いました。また、現地調査は、植物相の状況については、個体の目視、必要に応じて個体の採取による方法としました。この場合、できる限り環境への影響が少ない調査方法としました。植生の状況については、植物社会学的調査による方法としました。現地調査の際は、希少な種が生息する可能性のある湿地や水田周辺等の環境に留意して調査を行いました。具体的な調査手法は、山梨県区間は表 11.11.1-1 に、長野県区間は表 11.11.1-2 に示すとおりです。

#### ■用語の説明■

群落：同一場所である種の単位性と個別性を持って一緒に生育している植物の集まり。

表 11.11.1-1 植物の調査手法(山梨県)

調査項目	調査手法	
植物相	直接観察及び採取	調査地域内を任意に踏査し、確認された種を記録しました。現地で種の識別が困難なものについては、標本として持ち帰り、室内で同定を行いました。
植生	現存植生図の作成	航空写真の判読及び植物相調査時における任意観察の情報から調査地域の植生や土地利用を相観的に区分し、現存植生の素図を作成しました。植物社会学的調査（群落組成調査）時に素図の区分内容や区分境界等の確認補正を行い、現存植生図を作成しました。
	植物社会学的調査	調査地域内で確認された植物群落を対象に、植物群落ごとに方形枠を1～数箇所設定して、植物社会学的手法(Braun-Branquet : 1964)により調査区内の植物種の出現状況（被度・群度）、階層構造、優占種等を記録し、植物群落を区分しました。

表 11.11.1-2 植物の調査手法(長野県)

調査項目	調査手法	
植物相	直接観察及び採取	調査地域内を任意に踏査し、確認された種を記録しました。現地で種の識別が困難なものについては、標本として持ち帰り、室内で同定を行いました。
植生	現存植生図の作成	航空写真の判読及び植物相調査時における任意観察の情報から調査地域の植生や土地利用を相観的に区分し、現存植生の素図を作成しました。植物社会学的調査（群落組成調査）時に素図の区分内容や区分境界等の確認補正を行い、現存植生図を作成しました。
	植物社会学的調査	調査地域内で確認された植物群落を対象に、植物群落ごとに方形枠を1～数箇所設定して、植物社会学的手法(Braun-Blanquet : 1964)により調査区内の植物種の出現状況（被度・群度）、階層構造、優占種等を記録し、植物群落を区分しました。

## (B)重要な種及び群落の状況

重要な種及び群落等の状況の調査手法は、既存資料調査及び現地調査としました。

### a)重要な種及び群落等の生態

重要な種及び群落等の生態は、図鑑、研究論文、その他の資料の収集により把握しました。

#### ■用語の説明■

被度：各植物が地表のどれだけの割合を覆っているかを階級で示したもの。

群度：各植物がどの程度の集団で存在するかなど集合の状態を階級で示したもの。

#### **b)重要な種及び群落等の分布状況並びに生育状況**

重要な種及び群落等の分布状況並びに生育状況の調査は、山梨県区間は表 11.11.1-3 及び表 11.11.1-5 に示す選定基準に該当する種及び群落等について、長野県区間は表 11.11.1-4 及び表 11.11.1-6 に示す選定基準に該当する種及び群落等について、「植物相及び植生の状況」の調査と併せて行いました。

#### **c)重要な種等の生育環境の状況**

重要な種等の生育環境の状況は、現地踏査により微地形及び水系等を目視確認する方法としました。

表 11.11.1-3 重要な種の選定基準(山梨県)

No.	法律、文献等	選定基準となる区分
I	「文化財保護法」 (昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号、最終改正 : 令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号)	特天 : 特別天然記念物 国天 : 国指定天然記念物
	「山梨県文化財保護条例」 (昭和 31 年 4 月 9 日山梨県条例第 29 号、最終改正 : 令和 2 年 3 月 30 日山梨県条例第 5 号)	山天 : 山梨県指定天然記念物
	「北杜市文化財保護条例」 (平成 16 年 11 月 1 日北杜市条例第 113 号、最終改正 : 平成 17 年 12 月 16 日北杜市条例第 165 号)	北天 : 北杜市指定天然記念物
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号、最終改正 : 令和元年 6 月 14 日法律第 37 号)	特一 : 特定第一種国内希少野生動植物種 特二 : 特定第二種国内希少野生動植物種 国内 : 国内希少野生動植物種 国際 : 國際希少野生動植物種 緊急 : 緊急指定種 生息 : 生息地等保護区
III	「山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例」 (平成 19 年 7 月 9 日山梨県条例第 34 号)	特定 : 特定希少野生動植物 指定 : 指定希少野生動植物
IV	「第 5 次レッドリスト (植物・菌類)」 (令和 7 年 3 月 環境省)	EX : 絶滅 EW : 野生絶滅 CR : 絶滅危惧 IA 類 EN : 絶滅危惧 IB 類 VU : 絶滅危惧 II 類 NT : 準絶滅危惧 DD : 情報不足 LP : 絶滅のおそれのある地域個体群
V	「2018 山梨県レッドデータブック－山梨県の絶滅のおそれのある野生生物－」 (平成 30 年 3 月、山梨県)	EX : 絶滅 EW : 野生絶滅 CR : 絶滅危惧 IA 類 EN : 絶滅危惧 IB 類 VU : 絶滅危惧 II 類 NT : 準絶滅危惧 DD : 情報不足 LP : 絶滅のおそれのある地域個体群 N : 要注目種

表 11.11.1-4 重要な種の選定基準(長野県)

No.	法律、文献等	選定基準となる区分
I	「文化財保護法」 (昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号、最終改正 : 令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号)	特天 : 特別天然記念物 国天 : 国指定天然記念物
	「文化財保護条例」 (昭和 50 年 12 月 25 日長野県条例第 44 号、最終改正 : 令和 5 年 12 月 25 日長野県条例第 26 号)	県天 : 県指定天然記念物
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号、最終改正 : 令和元年 6 月 14 日法律第 37 号)	特一 : 特定第一種国内希少野生動植物種 特二 : 特定第二種国内希少野生動植物種 国内 : 国内希少野生動植物種 国際 : 國際希少野生動植物種 緊急 : 緊急指定種 生息 : 生息地等保護区
III	「長野県希少野生動植物保護条例」 (平成 15 年 3 月 24 日長野県条例第 32 号)	特別 : 特別指定希少野生動植物 指定 : 指定希少野生動植物
IV	「第 5 次レッドリスト (植物・菌類) の公表について」 (令和 7 年 3 月 環境省)	EX : 絶滅 EW : 野生絶滅 CR : 絶滅危惧 IA 類 EN : 絶滅危惧 IB 類 VU : 絶滅危惧 II 類 NT : 準絶滅危惧 DD : 情報不足 LP : 絶滅のおそれのある地域個体群
V	「長野県版レッドリスト (植物編) 2014」 (平成 26 年 3 月 長野県)	EX : 絶滅 EW : 野生絶滅 CR : 絶滅危惧 IA 類 EN : 絶滅危惧 IB 類 VU : 絶滅危惧 II 類 NT : 準絶滅危惧 DD : 情報不足 LP : 絶滅のおそれのある地域個体群 N : 留意種

表 11.11.1-5 重要な群落等の選定基準(山梨県)

No.	法律、文献等	選定基準となる区分
I	「文化財保護法」 (昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号、最終改正 : 令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号)	特天 : 特別天然記念物 国天 : 国指定天然記念物
	「山梨県文化財保護条例」 (昭和 31 年 4 月 9 日山梨県条例第 29 号、最終改正 : 令和 2 年 3 月 30 日山梨県条例第 5 号)	山天 : 山梨県指定天然記念物
	「北杜市文化財保護条例」 (平成 16 年 11 月 1 日北杜市条例第 113 号、最終改正 : 平成 17 年 12 月 16 日北杜市条例第 165 号)	北天 : 北杜市指定天然記念物
II	「植物群落レッドデータブック」 (平成 8 年 (財) 日本自然保護協会・(財) 世界自然保護基金日本委員会)	4 : 緊急に対策必要 3 : 対策必要 2 : 破壊の危惧 1 : 要注意
III	「第 1 回自然環境保全基礎調査 山梨県すぐれた自然図」 (昭和 51 年 環境庁)	○ : 植物群落
	「第 1 回自然環境保全基礎調査 長野県すぐれた自然図」 (昭和 51 年 環境庁)	
	「日本の重要な植物群落 (甲信越版)」 (昭和 55 年 2 月 15 日 環境庁)	○ : 特定植物群落
	「日本の重要な植物群落 II 甲信越版」 (昭和 63 年 8 月 30 日 環境庁自然保護局生物多様性センター)	
	「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」 (平成 12 年 環境庁)	

表 11.11.1-6 重要な群落等の選定基準(長野県)

No.	法律、文献等	選定基準となる区分
I	「文化財保護法」 (昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号、最終改正：令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号)	特天：特別天然記念物 国天：国指定天然記念物
	「文化財保護条例」 (昭和 50 年 12 月 25 日長野県条例第 44 号、最終改正：令和 5 年 12 月 25 日長野県条例第 26 号)	県天：県指定天然記念物
	「小海町文化財保護条例」 (昭和 41 年 3 月 17 日小海町条例第 8 号)	小天：小海町指定天然記念物
	「南牧村文化財保護条例」 (昭和 47 年南牧村条例第 45 号、最終改正：平成 26 年 3 月 18 日 南牧村条例第 11 号)	南天：南牧村指定天然記念物
	「佐久穂町文化財保護条例」 (平成 17 年 3 月 20 日佐久穂町条例第 76 号)	佐天：佐久穂町指定天然記念物
II	「植物群落レッドデータブック」 (平成 8 年 4 月 15 日、(財)日本自然保護協会ほか)	4：緊急に対策必要 3：対策必要 2：破壊の危惧 1：要注意
III	「第 1 回自然環境保全基礎調査 長野県すぐれた自然図」(昭和 51 年、環境庁)	○：植物群落
	「日本の重要な植物群落（甲信越版）」(昭和 55 年 2 月 15 日 環境庁)	○：植物群落
	「日本の重要な植物群落 II 甲信越版」(昭和 63 年 8 月 30 日、環境庁)	
IV	「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 3 月、環境庁自然保護局 生物多様性センター)	
	「長野県版レッドラリスト（植物編）2014」 (平成 26 年 3 月、長野県)	○：植物群落保護上の重要性が極めて高いもの 植物群落保護上の重要性が高いもの 植物群落保護の必要性が考えられるもの

### 3)調査地域及び調査地点

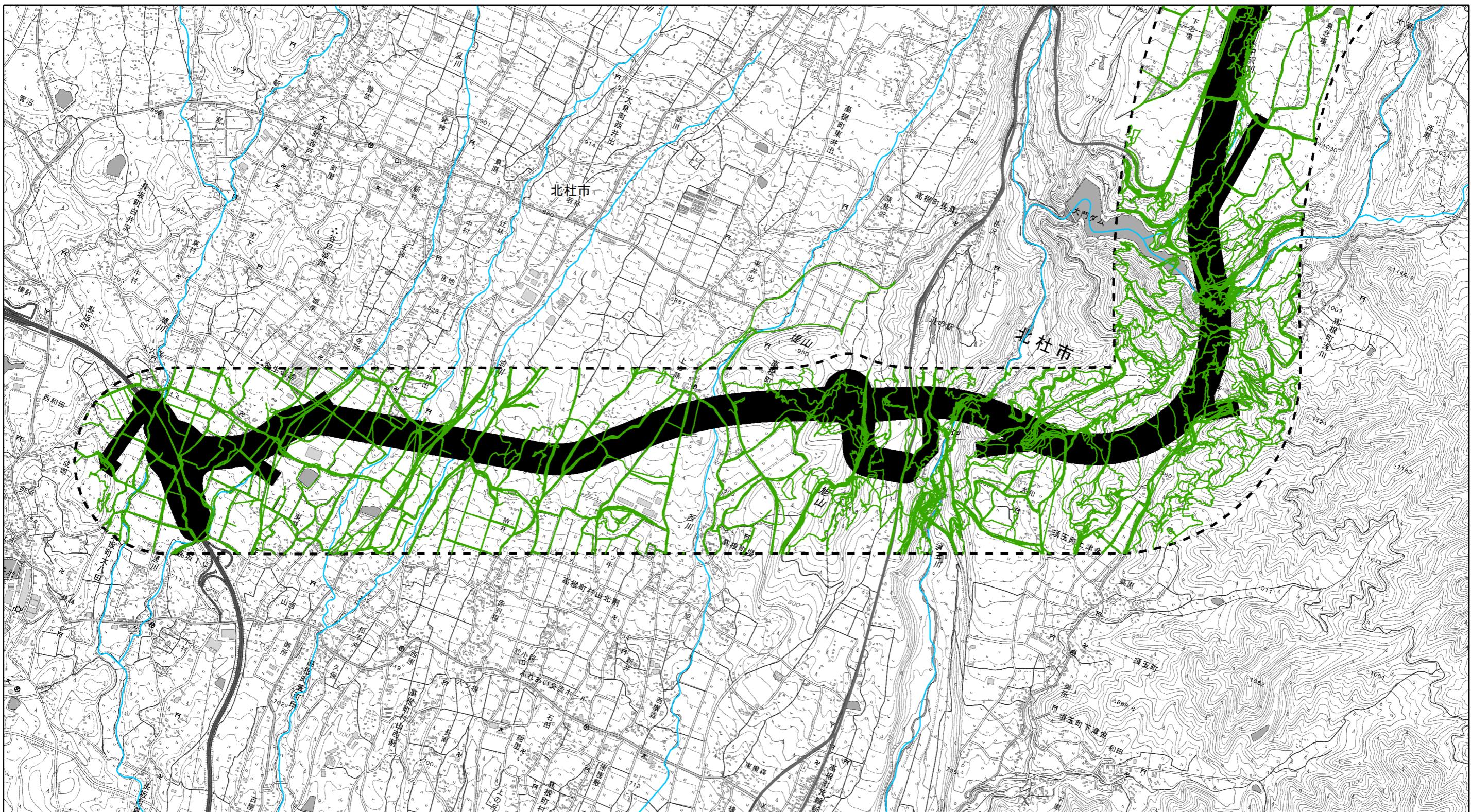
調査地域は、方法書時点の事業実施区域及びその端部から概ね 100m程度を目安としました。ただし、植生の調査地域は、動物及び生態系の予測に資する情報を得るため、方法書時点の事業実施区域及びその端部から概ね 250m程度としました。

植物相及び植生の状況の調査地点は、調査地域に生育する植物及び植生の生態的特徴、地形や植生等の生育基盤等を踏まえて、確認しやすい場所に調査地点又は経路を設定しました。

重要な種及び群落等の状況の調査地点は、重要な種・群落等の生態を踏まえ、調査地域において重要な種・群落等が生育する可能性の高い場所に調査地点又は経路を設定しました。

なお、踏査ルートは、環境影響が大きくなると想定される計画路線の明かり部となる箇所を重点的に設定しました。

植物相と重要な種の調査地点位置図は、図 11.11.1-1 及び図 11.11.1-2 に示すとおりです。



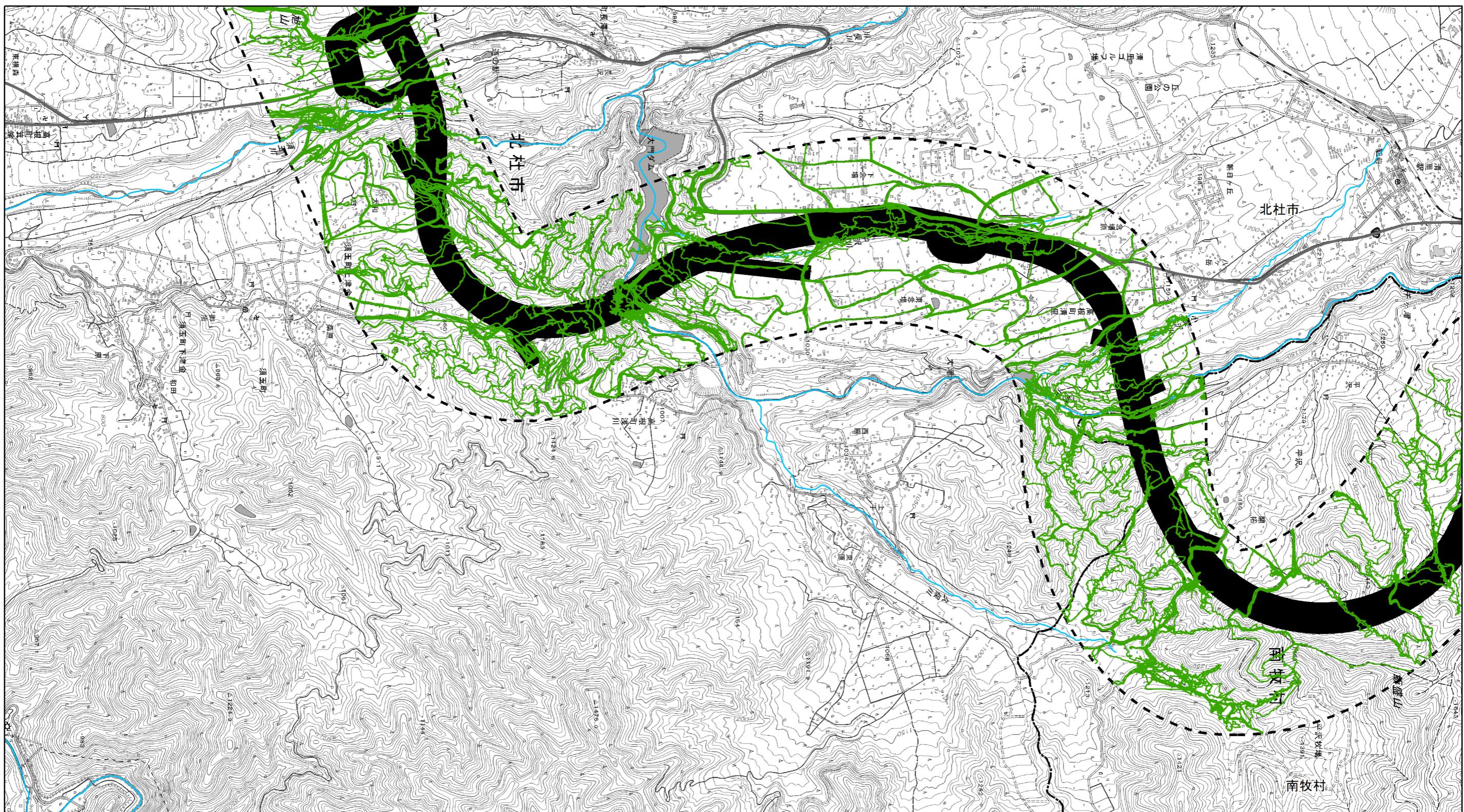
凡 例

- 事業実施区域
- 調査ルート
- 県境
- - - 市町村境
- 調査地域



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-1 (1)  
植物相の調査地点位置図



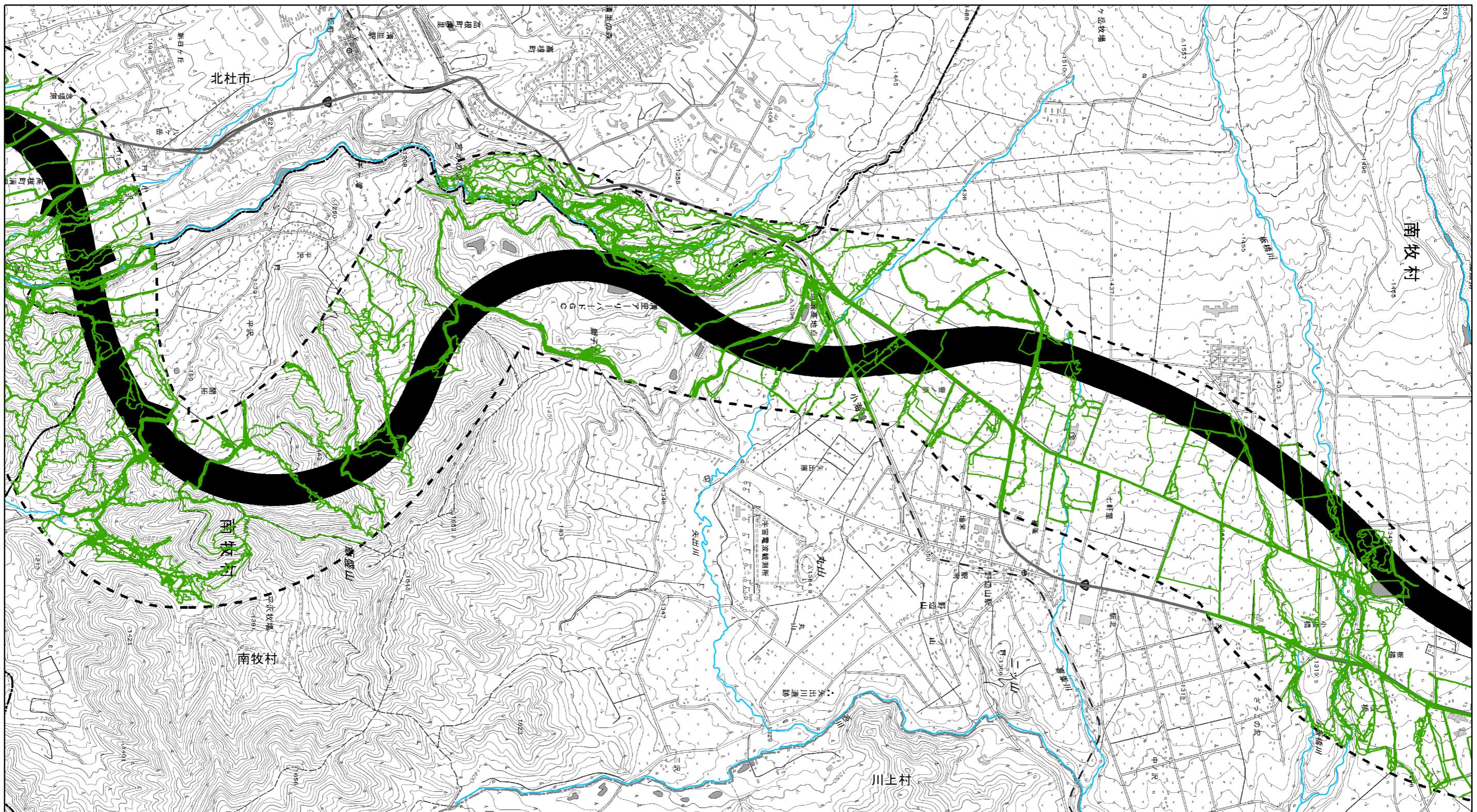
凡 例

- 事業実施区域 調査ルート
- 県境
- - - 市町村境
- 調査地域



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-1 (2)  
植物相の調査地点位置図



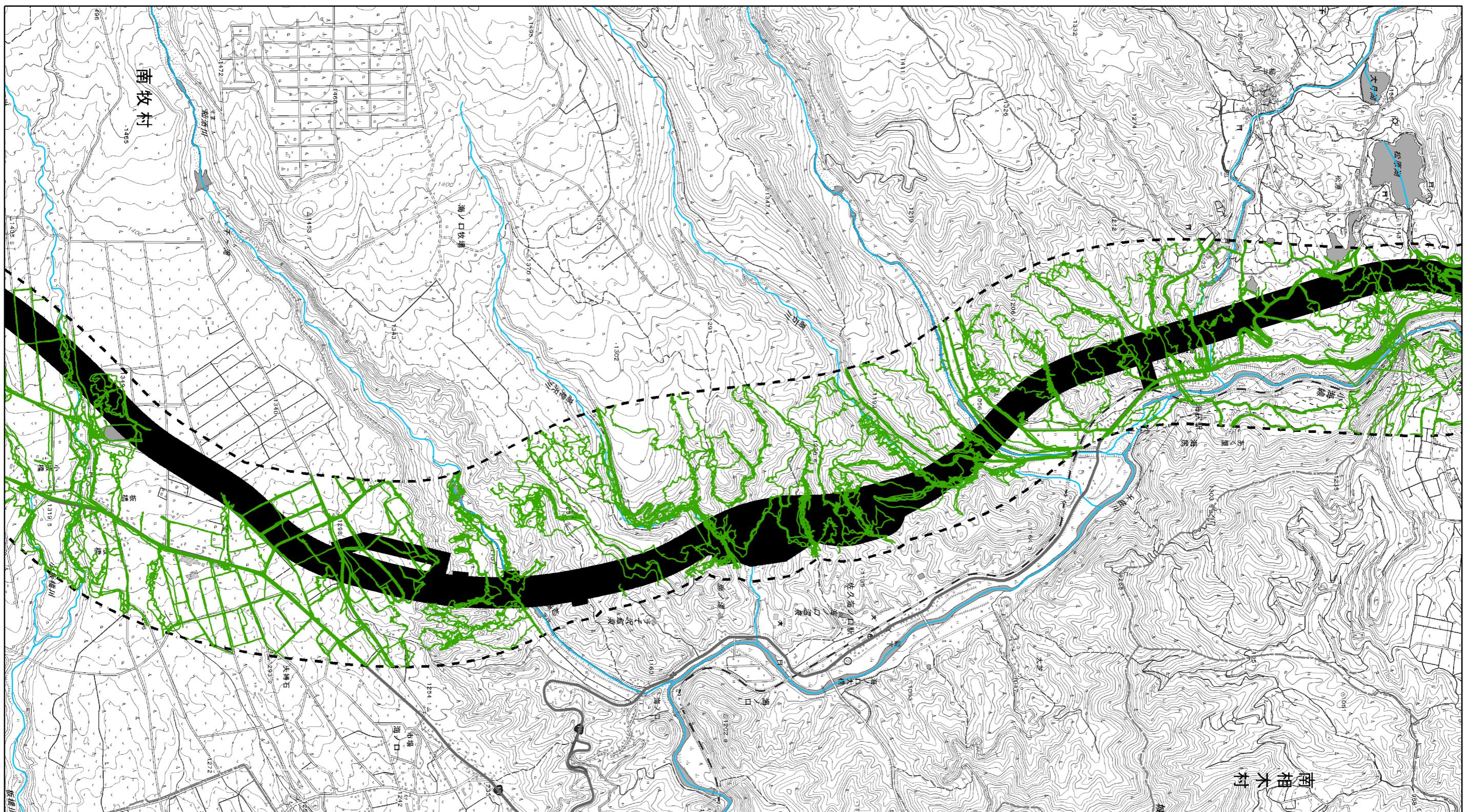
凡 例

- 事業実施区域
- 調査ルート
- 県境
- - - 市町村境
- 調査地域



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-1 (3)  
植物相の調査地点位置図



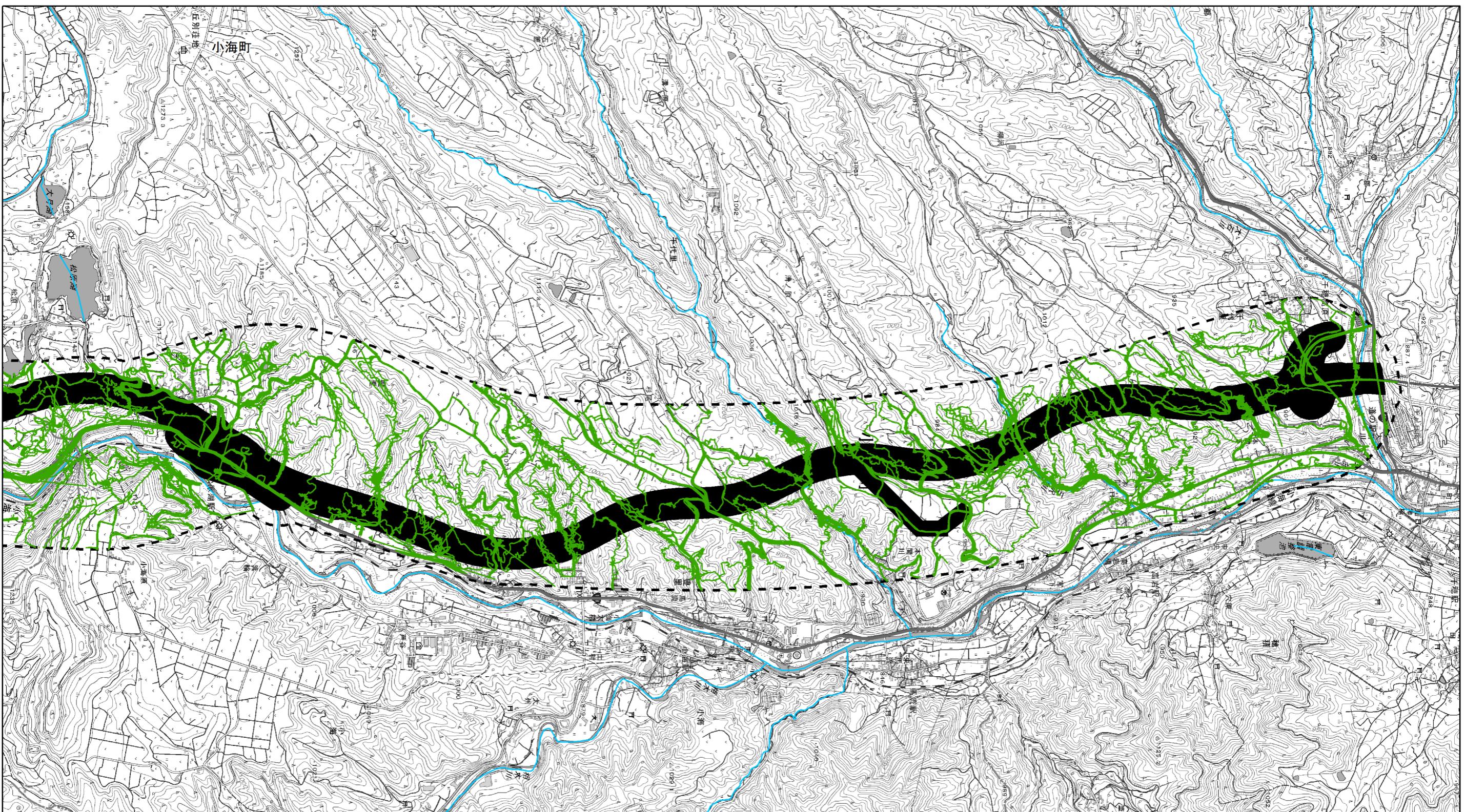
凡 例

- 事業実施区域
- 調査ルート
- 県境
- - - 市町村境
- 調査地域



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-1 (4)  
植物相の調査地点位置図



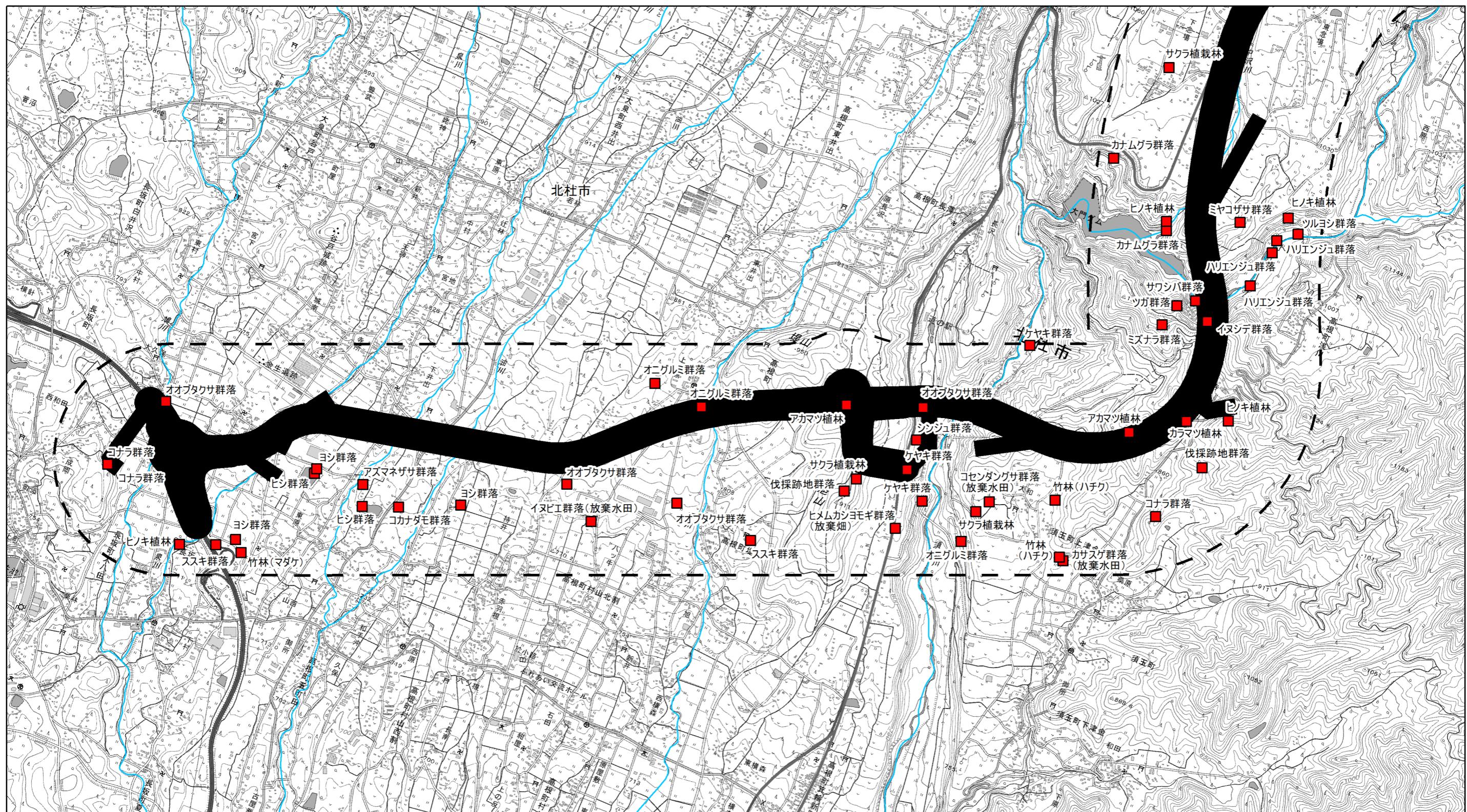
凡 例

- 事業実施区域
- 調査ルート
- 県境
- 市町村境
- 調査地域



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-1 (5)  
植物相の調査地点位置図



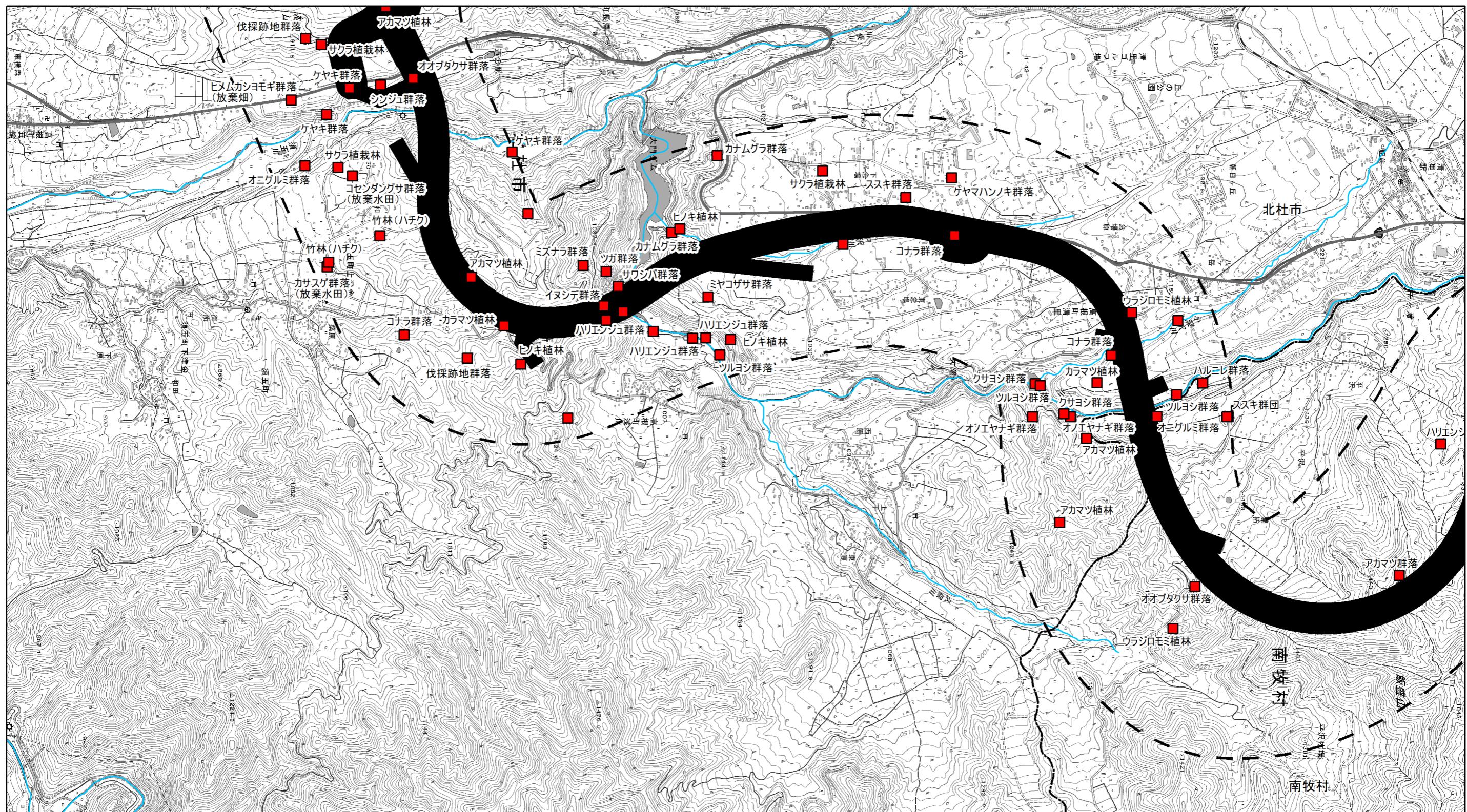
凡 例

- 事業実施区域
- 群落組成調査地点
- 県境
- - - 市町村境
- 調査地域



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-2 (1) 植生の  
調査地点位置図



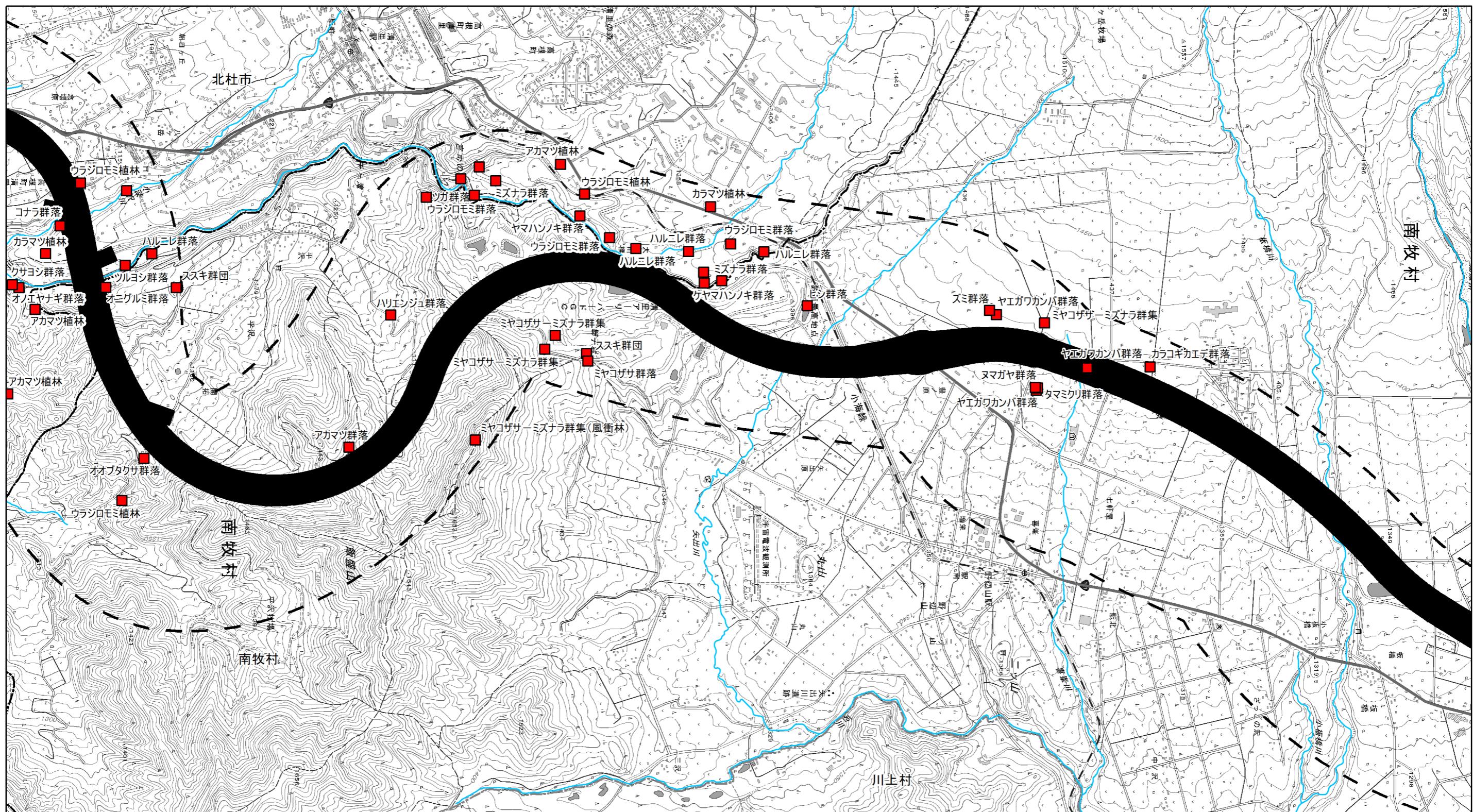
### 凡 例

- 事業実施区域
- 群落組成調査地点
- 県境
- - - 市町村境
- 調査地域



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-2 (2) 植生の  
調査地点位置図



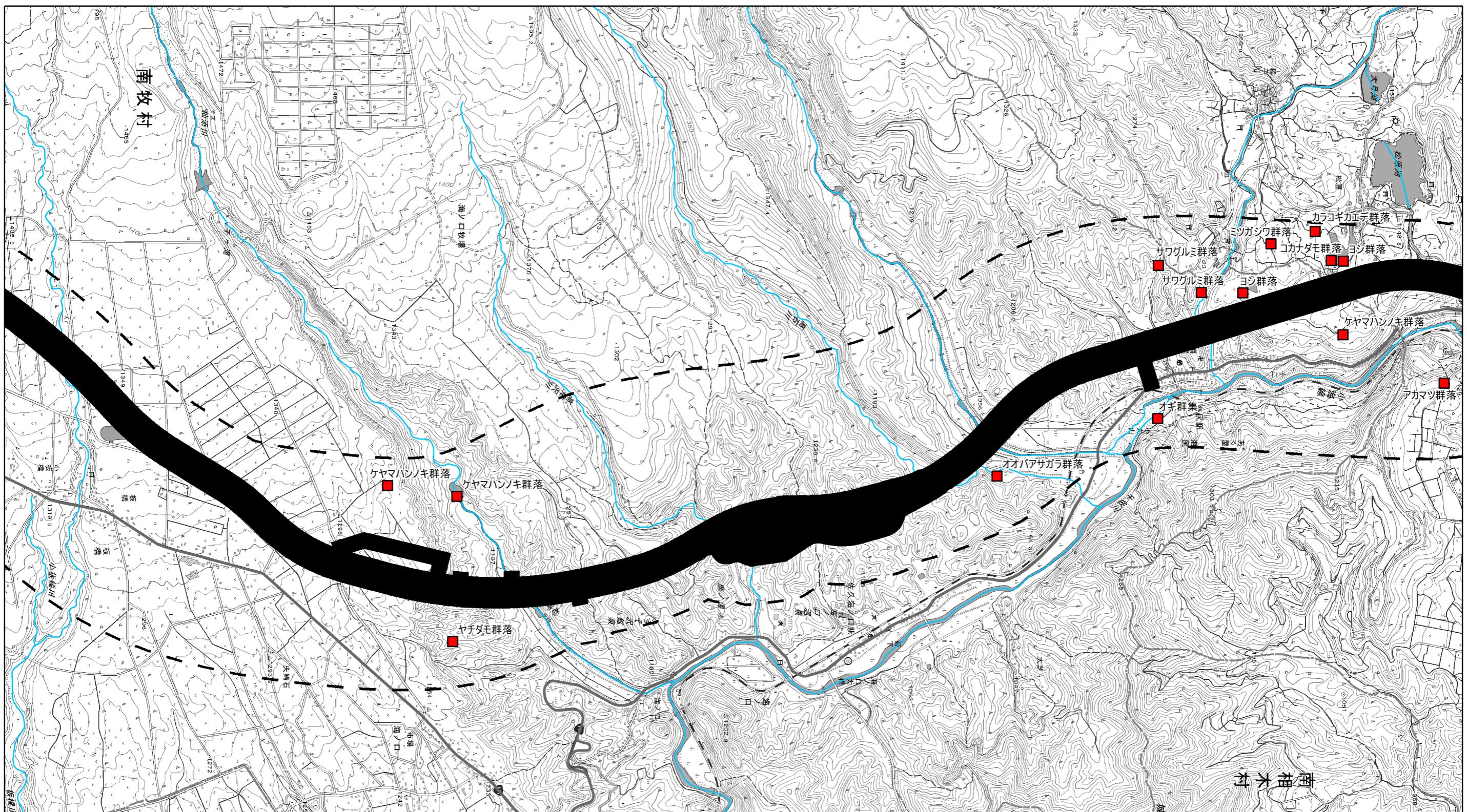
### 凡 例

- 事業実施区域
- 群落組成調査地点
- 県境
- - - 市町村境
- 調査地域

↗ Z

0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-2 (3) 植生の  
調査地点位置図



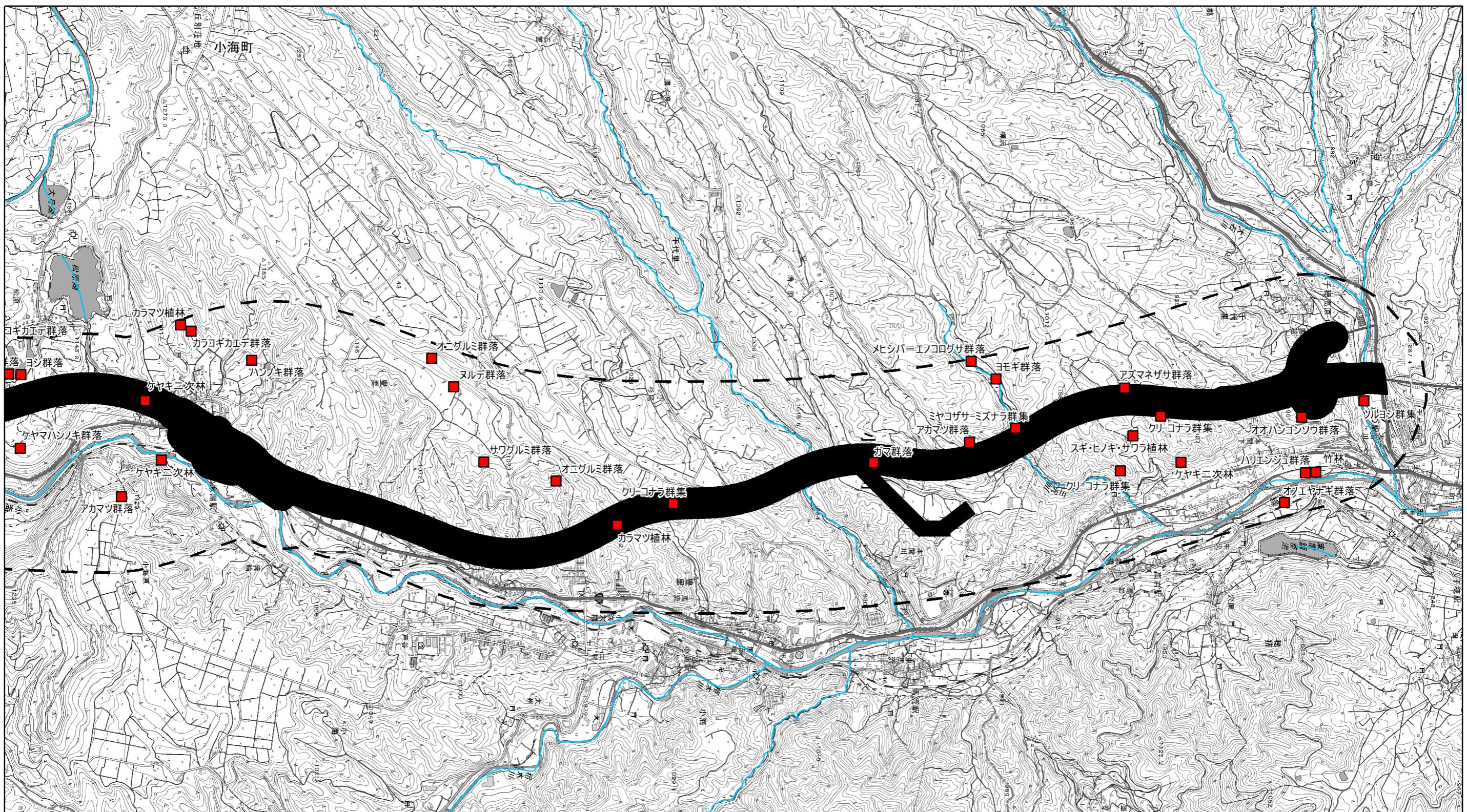
凡 例

- 事業実施区域
- 群落組成調査地点
- 県境
- - - 市町村境
- 調査地域



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-2 (4) 植生の  
調査地点位置図



凡 例

- 事業実施区域
- 群落組成調査地点
- 県境
- - - 市町村境
- 調査地域

↗ Z

0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-2 (5) 植生の  
調査地点位置図

#### 4)調査期間等

既存資料調査※は、最新の資料が入手可能な時期に行いました。

現地調査は、植物相の状況については、春夏秋の3季調査することを基本とし、そこに生育する植物を確認しやすい時期及び時間帯としました。植生の状況については、植物の色調に変化の出やすい秋に1~2回程度実施することを基本とし、植生の状況を確認しやすい時期及び時間帯としました。

重要な種及び群落等の状況は、重要な種及び群落等の生態を踏まえ、その生育の状況を確認しやすい時期とし、時間帯は昼間（9:00～17:00）を基本としました。

現地調査の調査期間は山梨県区間は表 11.11.1-7 に、長野県区間は表 11.11.1-8 に示すとおりです。

※：既存資料は、p4. 1. 5-24 に示す。

**表 11.11.1-7 現地調査の調査期間(山梨県)**

調査項目	調査方法	調査期間
植物相	直接観察及び採取	早春季：令和3年4月19日～4月23日 春季：令和3年5月24日～5月28日 夏季：令和3年7月26日～7月30日 秋季：令和3年9月27日～10月1日
植生	現存植生図の作成 植物社会学的調査	夏季※：令和3年8月24日～8月25日 秋季：令和3年9月6日～9月8日 令和3年9月13日～9月17日 令和3年10月5日～8日、10月14日

※：8月24日～25日は生態系調査（湿地性植物）を実施しており、生態系調査で取得したデータを一部植生調査に活用したため、調査日として記載した。

**表 11.11.1-8 現地調査の調査期間(長野県)**

調査項目	調査方法	調査期間
植物相	直接観察及び採取	早春季：令和3年4月19日～4月23日 春季：令和3年5月24日～5月29日 夏季：令和3年7月26日～7月30日、 令和3年8月2日～8月3日 秋季：令和3年9月27日～10月1日 ：令和3年10月4日～10月5日
植生	現存植生図の作成 植物社会学的調査	秋季：令和3年9月27日～9月28日 ：令和3年10月4日～10月8日

## 5)調査結果

### (A)既存資料調査結果

既存資料調査における植物相及び植生の状況及び重要な種及び群落等の状況の調査結果は、「第4章 4.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (2) 植物の生育状況」に示すとおりです。

### (B)現地調査結果

#### a)植物相及び植生の状況

##### i)植物相の状況

山梨県区間では、現地調査の結果、141科 1,115種の植物の生育を確認しました。

調査時期別の確認種数は表 11.11.1-9 に示すとおりです。

長野県区間では、現地調査の結果、141科 1,193種の植物の生育を確認しました。

調査時期別の確認種数は表 11.11.1-10 に示すとおりです。

表 11.11.1-9 現地調査結果の概要（確認種数）（山梨県）

調査時期	確認種数
早春季	105科 432種
春季	121科 695種
夏季	132科 737種
秋季	130科 754種
その他調査における確認※1	108科 438種
総計	141科 1,115種

※1:その他調査は、植生調査、生態系調査（湿地性植物、水生植物群集）の調査時に確認された植物種を指す。

表 11.11.1-10 現地調査結果の概要（確認種数）（長野県）

調査時期	確認種数
早春季	89科 376種
春季	116科 629種
夏季	130科 798種
秋季	137科 913種
その他調査における確認※2	103科 447種
総計	141科 1,193種

※2:その他調査は、植生調査、生態系調査（湿地性植物、水生植物群集）の調査時に確認された植物種を指す。

現地調査結果の概要として、確認種数及び主な生育環境と確認種は、山梨県区間は表 11.11.1-11 に、長野県区間は表 11.11.1-12 に示すとおりです。

表 11.11.1-11 現地調査結果の概要（主な生育環境と確認種）（山梨県）

主な生育環境	主な確認種
二次林（針葉樹林）	ウラジロモミ、ツガ、オノオレカンバ、ネジキ、トウゴクミツバツツジ等
二次林 (落葉広葉樹林)	イヌシデ、サワシバ、ミズナラ、オニグルミ、ケヤキ、コナラ、クリ、ホオノキ、ミヤコザサ、アズキナシ、エゾエノキ、サンショウ、コアジサイ等
伐採跡地	ニガイチゴ、タケニグサ、ニワウルシ、ヌルデ、ススキ等
植林	スギ、ヒノキ、アカマツ、カラマツ、ウラジロモミ、ハリエンジュ、ソメイヨシノ、マダケ、ハチク、ムラサキシキブ、ヤマカシュウ、サンショウ、ウリカエデ等
乾性草地	アズマネザサ、ミヤコザサ、ススキ、クズ、カナムグラ、オオブタクサ、アレチウリ、ヒメムカシヨモギ、コセンダングサ、メヒシバ等
湿性草地	ヨシ、ミヅソバ、アメリカセンダングサ、クサヨシ、カサスゲ、ツルヨシ、イヌビエ等
耕作地	—
水域・水辺	ヒシ、コカナダモ

表 11.11.1-12 現地調査結果の概要（主な生育環境と確認種）（長野県）

主な生育環境	主な確認種
樹林地	ウラジロモミ、カラマツ、アカマツ、ヒノキ、サワグルミ、オニグルミ、コナラ、エゾエノキ、ケヤキ、ヤエガワカンバ、ミズナラ、ウリハダカエデ、マルバアオダモ、ガマズミ、ミツバアケビ、リョウブ等
草地	スギナ、ノガリヤス、メヒシバ、オギ、ミヤコザサ、ススキ、アキノエノコログサ、ボタンヅル、カラハナソウ、カナムグラ、メマツヨイグサ、イヌタデ、エゾノギシギシ、ヨモギ、ヒメジョオン、アキノノゲシ等
耕作地	ヒメシダ、コウヤワラビ、オモダカ、ガマ、カサスゲ、アブラガヤ、チダケサシ、アカバナ、クサレダメ等
水域・水辺	ケヤマハンノキ、タチヤナギ、オノエヤナギ、タマミクリ、ヒシ、ミツガシワ、ヌマガヤ、ヨシ、ツルヨシ、アオミズ、アキノウナギツカミ、ミヅソバ、ツリフネソウ、エゾシロネ、ミズヒキ等

### ii) 植生の状況

植物群落等の概要は、山梨県区間は表 11.11.1-13に、長野県区間は表 11.11.1-14に、現存植生図は図 11.11.1-3に示すとおりです。

山梨県区間では現地調査において、合計 42 種類の植物群落及び土地利用区分等が確認されました。調査地域は、針葉樹林のウラジロモミ群落やツガ群落が山地の尾根などにわずかに分布するほかは、コナラやクリ、ミズナラ、ケヤキ等からなる落葉広葉樹の二次林、アカマツやヒノキ等が植栽された人工林、ススキ群団や牧草地等の乾性草地、ヨシ群落やツルヨシ群集等の湿性草地、畑雜草群落や水田雜草群落等の耕作地が広く分布しており、人為的な影響を受けた代償植生が大半となっています。

なお、潜在自然植生を念頭に置いて植生調査を実施しましたが、潜在自然植生に相当する現存植生は存在（残存）しませんでした。

長野県区間では現地調査において、合計 51 種類の植物群落及び土地利用区分等が確認されました。調査地域は、カラマツ植林地の面積が最も大きく、そのほか主にミズナラやケヤキの優占する二次林、ススキ等からなる二次草原、牧草地や畠地、水田等の農耕地が広く分布していました。また、千曲川に流入する河川沿いには、サワグルミ群落等の溪畔林やケヤマハンノキ群落等の河辺林が分布し、調査地域内に点在する湿地や沼地では、ヨシ群落やツルヨシ群落、ハンノキ群落やヌマガヤ群落等が分布していました。地域特有の植生としては、ヤエガワカンバ群落やカラコギカエデ群落等がみられています。

表 11.11.1-13(1) 現地調査結果の概要（植物群落等の確認状況）（山梨県）

群落区分	凡例番号	群落名	面積	主な構成種	分布状況等
二次林 (針葉樹林)	1	ウラジロモミ群落	1.222ha	ウラジロモミ、ミズナラ、サワタギ、ツノハシバミ、ガマズミ、アズキナシ、ミヤコザサ	宮司の滝周辺から大門川上流部に分布
	2	ツガ群落	0.170ha	ツガ、オノオレカンバ、ネジキ、トウゴクミツバツツジ	大門川ダム流入部の左岸斜面尾根に分布
二次林 (落葉広葉樹林)	3	ハルニレ群落	6.307ha	ハルニレ、ミズナラ、オオモミジ、イトマキイタヤ、サワタギ、サワシバ、カジカエデ、ミヤコザサ、スグ属、ウワバミソウ	大門川上流部の河川沿いに分布
	4	オノエヤナギ群落	3.108ha	オノエヤナギ、ユゴメヤナギ、ケヤマハンノキ、アブラチャン、ツリフネソウ、ハナタデ、クサヨシ、クサコアカソウ	大門川中流部の河川沿いに分布
	5	ケヤマハンノキ群落	3.314ha	ケヤマハンノキ、ミズキ、ミズナラ、サワシバ、ヒノキ、ウワミズザクラ、カマツカ、ズミ、アブラチャン、ミヤマイボタ、ミヤコザサ、スグ属、オタカラコウ	大門川中流部の沢沿いや大門川上流部に分布

#### ■用語の説明■

代償植生、自然植生：人為的な影響を受けてその土地本来の植生に代わって成立している植生。対して、人為的な影響を受けずにその土地の環境の下に自然生育している植生を自然植生という。

表 11.11.1-13(2) 現地調査結果の概要（植物群落等の確認状況）（山梨県）

群落区分	凡例番号	群落名	面積	主な構成種	分布状況等
二次林(落葉広葉樹林)	6	アカシデーイヌシデ群落	4.494ha	イヌシデ、サワシバ、リョウブ、クリ、ダンコウバイ、ミツバツツジ、アワブキ、コアジサイ	大門川ダム流入部左岸の比較的急傾斜の斜面に分布
	7	ミヤコザサーミズナラ群集	76.786ha	ミズナラ、サワシバ、アズキナシ、リョウブ、ツノハシバミ、サワフタギ、ミヤコザサ、スゲ属	大門川上流部に広く分布
	8	オニグルミ群落	12.041ha	オニグルミ、ハリエンジュ、ヤマグワ、ミズキ、アケビ、アブラチヤン、イヌガヤ、サンショウ、ノイバラ、アズマネザサ、ケチヂミザサ、ヤブマメ、アケビ	須玉川沿いや大門川の下流部～中流部の耕作跡地などに分布
	9	ケヤキ二次林	18.117ha	ケヤキ、オニグルミ、エゾエノキ、ウワミズザクラ、ダンコウバイ、クサギ、アブラチヤン、ハナイカダ、ヤマウコギ、アケビ、ケチヂミザサ、フキ、ミヤコザサ、ミチシバ	須玉川沿いの斜面に分布
	15	クリーコナラ群集	493.417ha	コナラ、クリ、ミズナラ、アブラチヤン、リョウブ、アオダモ、ダンコウバイ、アオハダ、ミヤコザサ、アズマネザサ、スゲ属	低地から台地、山地の標高1,000m付近にかけて広く分布
伐採跡地	13	ヤクシソウータケニグサ群集	31.817ha	ニガイチゴ、クリ、タケニグサ、ヤマハギ	低地～台地、山地の樹林伐採地に分布
	14	ニワウルシ群落	0.203ha	ニワウルシ、クマノミズキ、ススキ、イノコヅチ、カナムグラ	国道141号沿いに分布
植林	22	スギ・ヒノキ・サワラ植林	54.928ha	ヒノキ、スギ、アブラチヤン、アズマネザサ、コアジサイ、フタリシズカ、ヤマツツジ	主に低地から台地、山地の標高1,000m未満の地域に分布
	23	アカマツ植林	271.430ha	アカマツ、カラマツ、ウリカエデ、コナラ、ミズキ、ミズナラ、クリ、ハクウンボク、ダンコウバイ、アブラチヤン、リョウブ、エゴノキ、アオハダ、ネジキ、ハウチワカエデ、スゲ属、ミヤコザサ、クマイザサ	低地から台地、山地にかけて広く分布
	24	カラマツ植林	93.790ha	カラマツ、カスミザクラ、ヒノキ、クリ、スギ、ウワミズザクラ、アブラチヤン、サワフタギ、アオハダ、ミヤコザサ、アズマネザサ、ススキ	主に標高1,000m以上の台地、山地に分布
	25	サクラ植栽林	2.276ha	ソメイヨシノ、ケチヂミザサ、アレチウリ、コセンダングサ	道路沿いに分布
	26	ウラジロモミ植林	0.645ha	ウラジロモミ、ミズキ、ウリハダカエデ、ミヤコザサ、スゲ属	大門川上流部に分布
	27	ハリエンジュ群落	6.429ha	ハリエンジュ、オニグルミ、エゾエノキ、アブラチヤン、ヤマウコギ、サルナシ、フジ、カナムグラ、カキドオシ、クサヨシ、アレチウリ、オオブタクサ	大門川下流部の造成跡地などに分布
	28	竹林	9.369ha	マダケ、ハチク、フジ、タチドコロ	低地の河川沿いや住宅地周辺に分布

表 11.11.1-13(3) 現地調査結果の概要（植物群落等の確認状況）（山梨県）

群落区分	凡例番号	群落名	面積	主な構成種	分布状況等
乾性草地	10	アズマネザサ群落	0.556ha	アズマネザサ、オオアワダチソウ	低地の耕作地周辺に分布
	11	ミヤコザサ群落	0.543ha	ミヤコザサ	高標高地の耕作地周辺に分布
	12	ススキ群団	26.801ha	ススキ、ヌルデ、カナムグラ、ヤマハギ	耕作地周辺や造成跡地に分布
	29	芝地	4.340ha	—	低地にある施設として分布
	30	牧草地	44.546ha	—	低地～台地に分布
	31	オオブタクサ群落	6.598ha	オオブタクサ、アズマネザサ、ヤブマメ、クズ	低地の耕作地周辺に分布
	32	ヒメジョオンーヒメムカシヨモギ群落	0.745ha	ヒメムカシヨモギ、メヒシバ、コセンダングサ、ヒメジョオン	低地の耕作地周辺に分布
	33	カナムグラ群落	3.271ha	カナムグラ、クズ、アレチウリ	低地の耕作地周辺に分布
湿性草地	16	ヨシ群落	1.831ha	ヨシ、カナムグラ、アメリカセンダングサ、ヤブマメ	低地の耕作地周辺やため池に分布
	17	セリーグサヨシ群集	0.211ha	クサヨシ、ミヅソバ、カナムグラ、アキノウナギツカミ	大門川中流部の河川沿いや耕作地周辺に分布
	18	カサスグ群落	0.153ha	カサスグ、アキノウナギツカミ、ガマ	低地の耕作地周辺に分布
	19	ツルヨシ群集	2.434ha	ツルヨシ、カナムグラ、アキノウナギツカミ	須玉川や大門川下流部、中流部の河川沿いに分布
	37	放棄水田雑草群落	13.163ha	イヌビエ、コセンダングサ、シロザ、メヒシバ、ハキダメギク	低地の耕作地周辺に分布
耕作地	34	果樹園	9.517ha	—	低地～台地に分布
	35	畑雜草群落	281.957ha	—	低地～台地に分布
	36	水田雜草群落	255.344ha	—	主に低地に分布
水域	20	ヒシ群落	1.171ha	ヒシ	低地のため池に分布
	21	コカナダモ群落	0.083ha	コカナダモ	低地のため池に分布
	42	開放水域	14.038ha	—	河川やダム、ため池
その他	38	市街地等	67.233ha	—	工場や太陽光発電用地
	39	緑の多い住宅地	153.106ha	—	住宅地
	40	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等	2.931ha	—	公園
	41	造成地	3.141ha	—	造成地

表 11.11.1-14(1) 現地調査結果の概要（植物群落等の確認状況）（長野県）

群落区分	凡例番号	群落名	面積	主な構成種	分布状況等
冷温帯針葉樹林	1	ツガ群落	0.727ha	ツガ、アカマツ、クマシデ、ナツツバキ、ツガ、ミズナラ、クリ、トウゴクミツバツツジ、ヤマツツジ、リョウブ、ナツツバキ、ダンコウバイ、コアジサイ、イトスゲ	大門川の左岸斜面、尾根沿いに分布
渓畔林	2	サワグルミ群落	48.048ha	サワグルミ、オニグルミ、カラマツ、シナノキ、ホオノキ、イトマキイタヤ、サワシバ、アブラチャン、コブシ、イトスゲ、スズダケ、カキドオシ、ミヤマクマワラビ	袖添川や高見沢川、高石川等の沢沿いに分布
	3	ハルニレ群集	18.157ha	ハルニレ、フジ、アブラチャン、オオモミジ、アケビ、ミズヒキ、ダイコンソウ	袖添川や大門川流域の沢沿いに分布
	4	オオバアサガラ群落	0.029ha	オオバアサガラ、カキドオシ、ミチシバ、ハネガヤ、オシダ	高石川沿いに小面積の林分が分布
	5	ヤチダモ群落	0.079ha	ヤチダモ、ミズナラ、オオバキハダ、オニグルミ、サワシバ、オニイタヤ、アオナシ、ウワバミソウ、アシボソ、フタリシズカ、カサスゲ	袖添川流域に小面積の林分が分布
沼沢林	6	ハンノキ群落	3.436ha	ハンノキ、アブラチャン、ミヅソバ、カサスゲ	低地から台地、山地にかけて小面積の林分が分布
	7	ズミ群集	2.784ha	ズミ、コマユミ、サワフタギ、ミヤコザサ、スゲ属の一種	筑波大学八ヶ岳演習林内にまとまって分布
	8	オノエヤナギ群落	2.186ha	オノエヤナギ、クズ、カナムグラ、タチヤナギ、オオブタクサ、カキドオシ	耕作放棄地(水田跡)の周辺に点々と分布
河辺林	9	ケヤマハンノキ群落	39.956ha	ケヤマハンノキ、カジカエデ、ミヅソバ、オオブタクサ、ススキ、アシボソ、クサヨシ、ノガリヤス、ツルヨシ	主に沢沿いの斜面など、水の染み出しによる湿地環境が形成されている場所や耕作地周辺にも分布
	10	ヤエガワカンバ群落	122.358ha	ヤエガワカンバ、ミズナラサワフタギ、カラコギカエデ、ズミ、ミヤコザサ	主に野辺山地区の耕作地周辺にまとまって分布
落葉広葉樹二次林	11	ミヤコザサーミズナラ群集	434.356ha	ミズナラ、クリ、アズキナシ、ミズキ、サワフタギ、アオハダ、リョウブ、ミヤコザサ	野辺山地区から山梨県境にかけての台地から山地に広く分布
	12	ミヤコザサーミズナラ群集（風衝林）	2.899ha	ミズナラ、ミヤマアオダモ、ヤマツツジ、ミヤコザサ、イトスゲ	飯盛山登山道沿いの風衝地に分布

表 11.11.1-14(2) 現地調査結果の概要（植物群落等の確認状況）（長野県）

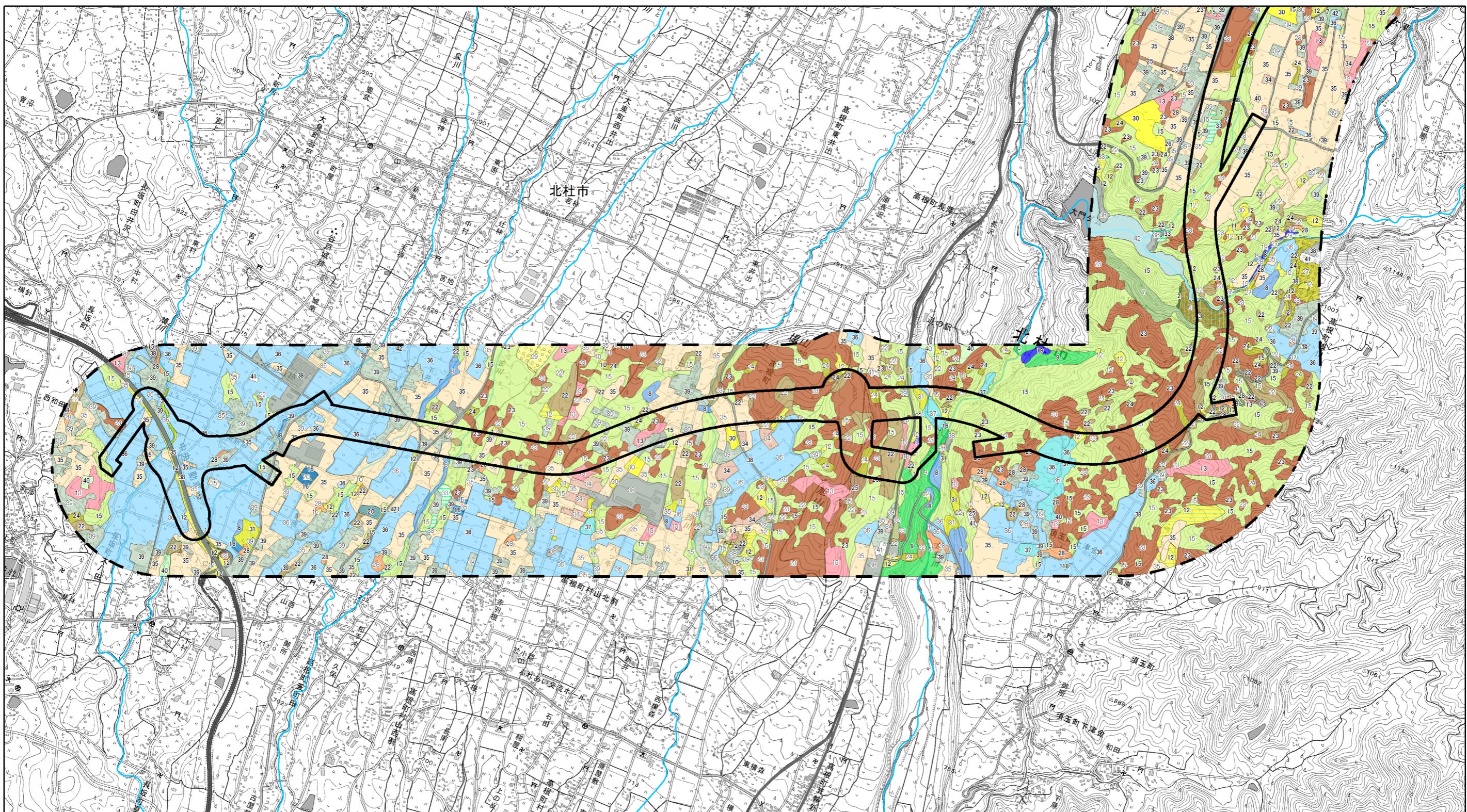
群落区分	凡例番号	群落名	面積	主な構成種	分布状況等
落葉広葉樹二次林	13	オニグルミ群落	99.766ha	オニグルミ、フジ、ミズキ、ニガキ、アブラチャン、ツノハシバミ、ヤマグワ、サンショウ、ミズヒキ、クマイザサ、タツノヒゲ	河川沿いの斜面や耕作跡地に分布
	14	ケヤキ二次林	106.254ha	ケヤキ、フジ、コブシ、ミズキアブランチャン、ツリバナ、フタリシズカ、タチツボスミレ、ヤマカシュウ、ハエドクソウ	三沢川や本間川、千曲川沿いの斜面に分布
	21	クリーコナラ群集	344.172ha	コナラ、アカマツ、ウラゲエンコウカエデ、マルバアオダモ、ツノハシバミ、ミヤマウグイスカグラ	北部の低地から山地、野辺山地区の台地の縁、山梨県境付近の山地に分布
常緑広葉樹二次林	15	アカマツ群落	138.151ha	アカマツ、コナラ、ヤマウルシ、クマイザサ、リョウブ、コアジサイ	低地から台地、山地にかけて広く分布
落葉広葉樹低木群落	16	カラコギカエデ群落	7.465ha	カラコギカエデ、オニグルミ、フジ、カキドオシ、オオハンゴンソウ、ミズソバ、ヒメヘビイチゴ	低地から山地の水の染み出しによる湿地環境が形成されている場所や耕作地周辺の湿った環境にも分布
二次草原	17	ミヤコザサ群落	14.155ha	ミヤコザサ、ワラビ	飯盛山登山道沿いの風衝地に分布するほか、植林地の樹林伐採跡地にも分布
	18	ススキ群団	75.101ha	ススキ、オオブタクサ、ヨモギ、ナガハグサ、ミヤコザサ	低地から山地にかけての耕作地周辺や耕作放棄地に分布
伐採跡地群落	19	ヌルデ群落	11.121ha	ヌルデ、クマイチゴ、タラノキ、ハシバミ、ミヤコザサ、ハシバミ	低地から山地にかけての樹林伐採地に分布
	20	伐採跡地	39.325ha	-	低地から山地にかけての樹林伐採地に分布
タケ・ササ群落	22	アズマネザサ群落	0.361ha	アズマネザサ、ケチヂミザサ、ヨモギ、カキドオシ	低地の耕作地周辺に小面積の群落が分布
湿原・河川・池沼植生	23	ヌマガヤ群落	0.533ha	ヌマガヤ	野辺山地区周辺の水の染み出しによる湿地環境が形成されている場所に分布
	24	タマミクリ群落	0.008ha	タマミクリ	野辺山地区周辺の水の染み出した池に分布
	25	ミツガシワ群落	0.168ha	ミツガシワ	松原湖周辺の溜池に分布
	26	ヨシ群落	14.297ha	ヨシ、ツリフネソウ	低地の耕作地周辺や溜池周辺に分布
	27	ツルヨシ群集	12.211ha	ツルヨシ、ヤエムグラ、イシミカワ、カラハナソウ	千曲川等の河川沿いに分布
	28	オギ群集	4.802ha	オギ、オオブタクサ、ツルマメ、コセンダングサ	千曲川や袖添川の河川沿いに分布
	29	ヒシ群落	0.412ha	ヒシ	野辺山地区の溜池に分布
	30	コカナダモ群落	0.458ha	コカナダモ	長湖に分布
植林	31	スギ・ヒノキ・サワラ植林	3.972ha	ヒノキ、アブラチャン、ケチヂミザサ、エナシヒゴクサ、ハナタデ、ミズヒキ	低地から台地、山地に分布

表 11.11.1-14(3) 現地調査結果の概要（植物群落等の確認状況）（長野県）

群落区分	凡例番号	群落名	面積	主な構成種	分布状況等
植林	32	カラマツ植林	1105.657ha	カラマツ、コナラ、アサダ、ミヤマウグイスカグラ、アブラチャン、サンショウ、ミヤコザサ、ミヤマクマワラビ、クマヤナギ、アケビ	低地から台地、山地にかけて全域に広く分布
	33	ハリエンジュ群落	45.187ha	ハリエンジュ、ノイバラ、カキドオシ、オオブタクサ、クサヨシ、ヤブカラシ	耕作地周辺、千曲川沿いなどに分布
	34	ウラジロモミ植林	2.972ha	ウラジロモミ、アブラチャン、コクサギ、ムラサキシキブ、ミヤマタニソバ、ハエドクソウ、イノコヅチ、ケチヂミザサ	野辺山地区の耕作地周辺から山梨県境にかけて分布
竹林	35	竹林	6.424ha	ハチク、フジ、カキドオシ、コチヂミザサ	低地から山地の耕作地周辺や人家の裏山、千曲川沿い等に分布
牧草地・ゴルフ場・芝地	36	ゴルフ場	41.827ha	-	清里アーリーバード GC の敷地内に分布
	37	牧草地	154.278ha	-	野辺山地区周辺の台地から飯盛山周辺に分布
路傍・空地雑草群落	38	メヒシバーエノコログサ群落	8.646ha	メヒシバ、ハキダメギク、イヌタデ、アキノエノコログサ	低地から台地、山地にかけての耕作地周辺や人家付近に分布
	39	ヨモギ群落	7.066ha	ヨモギ、イヌタデ、キンエノコロ、エゾノギシギシ	低地から台地、山地にかけての耕作地周辺や人家付近に分布
	40	オオブタクサ群落	30.131ha	オオブタクサ、イヌビエ、カナムグラ、ヤブマメ	低地から台地、山地にかけての耕作地周辺に分布
	41	オオハンゴンソウ群落	2.847ha	オオハンゴンソウ、ケチヂミザサ、ハナタデ、ハネガヤ	北部の耕作地周辺、谷筋に多く分布
果樹園	42	果樹園	7.451ha	-	低地から台地に分布
烟雜草群落	43	烟雜草群落	681.956ha	-	低地から台地に分布
水田雜草群落	44	水田雜草群落	55.979ha	-	主に低地に分布
放棄水田雜草群落	45	カサスグ群落	0.010ha	カサスグ、ヒメシダ	低地の耕作放棄地に分布
	46	ガマ群落	0.433ha	ガマ、カサスグ、アキノウナギツカミ、ヒメシダ	低地の耕作放棄地に分布

表 11.11.1-14(4) 植物群落の概要（植物群落等の確認状況）（長野県）

群落区分	凡例番号	群落名	面積	主な構成種	分布状況等
市街地等	47	市街地	342.721ha	-	道路等
	48	緑の多い住宅地	14.763ha	-	住宅地
	49	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等	9.934ha	-	公園、墓地等
	50	開放水域	32.405ha	-	河川、溜池
	51	自然裸地	9.793ha	-	自然裸地



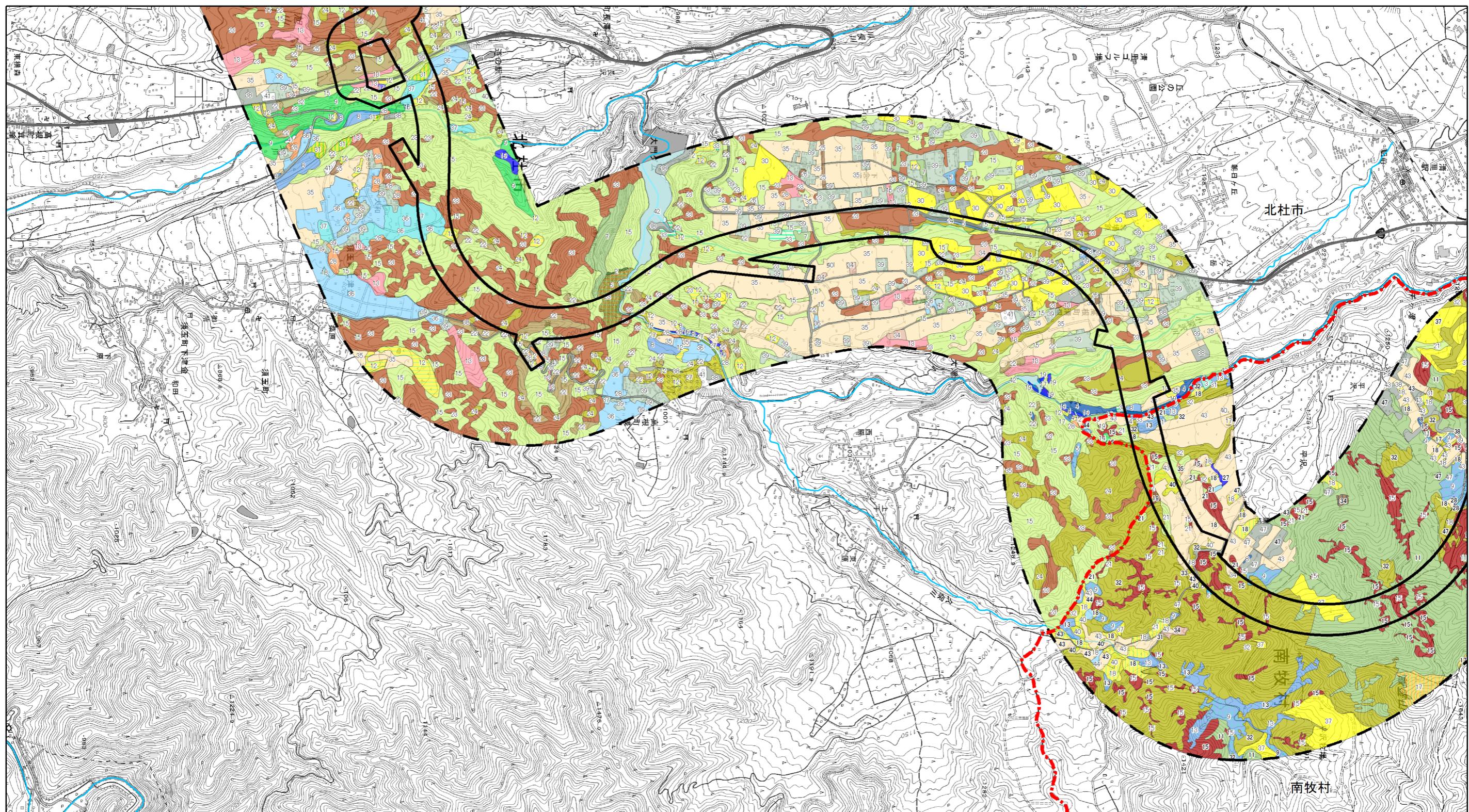
### 凡 例

○ 事業実施区域  
□ 調査地域

植生例（山梨県）	
01 ウラジロモミ群落	15 クリコナラ群落
02 ツガ群落	16 ヨシ群落
03 ハルニレ群落	17 セリーカヨシ群集
04 オノエヤナギ群落	18 カサスケ群落
05 ケヤマハンノキ群落	19 ツルヨシ群集
06 アカシデイヌシテ群落	20 ヒシ群落
07 ミヤコザサニズナ群集	21 コナダモ群落
08 オニグリミ群落	22 スギ・ヒノキ・サワラ植林
09 ケヤキ二次林	23 アカラマツ植林
10 アズマネザサ群落	24 カラマツ植林
11 ミヤコザサ群落	25 サクラ植栽林
12 ススキ群団	26 ウラジロモミ植林
13 ヤクシソウ・タケニグサ群集	27 ハリエンジュ群落
14 ニワウルシ群落	28 竹林
	29 芝地
	30 牧草地
	31 オオブタクサ群落
	32 ヒメジョオン・ヒメムカシヨモギ群落
	33 カナムグラ群落
	34 果樹園
	35 畑雜草群落
	36 水田雜草群落
	37 放棄水田雜草群落
	38 市街地
	39 緑の多い住宅地
	40 残存・植栽樹群をもつ公園、墓地等
	41 造成地
	42 開放水域

0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-3 (1) 現存植生図



### 凡 例

- 事業実施区域
- 県境
- [ ] 調査地域

#### 植生凡例 (山梨県)

01 ウラジロモミ群落	15 クリーコナラ群集	29 芝地	43 畑雜草群落
02 ツガ群落	16 ヨシ群落	30 牧草地	44 水田雜草群落
03 ハルニレ群落	17 セリーカヤシ群集	31 オオブタクサ群落	45 カサスゲ群落
04 オノエヤナギ群落	18 カサスゲ群落	32 ハミヨンヒメカシヨギ群落	46 ガマ群落
05 ケヤマハンノキ群落	19 ツルヨシ群集	33 カナムグラ群落	47 市街地
06 アカシディイヌシテ群落	20 ヒシ群落	34 果樹園	48 緑の多い住宅地
07 ミヤコザサミズナラ群集	21 コナダモ群落	35 畑雜草群落	49 残存・植栽樹群をもつ公園、墓地等
08 オニグルミ群落	22 スギ・ヒノキ・サワラ植林	36 水田雜草群落	50 開放水域
09 ケヤキ二次林	23 アカマツ植林	37 放棄水田雜草群落	51 自然裸地
10 アズマネザサ群落	24 カラマツ植林	38 市街地	
11 ミヤコザサ群落	25 サクラ植栽林	39 緑の多い住宅地	
12 ススキ群団	26 ワラジロモミ植林	40 残存・植栽樹群をもつ公園、墓地等	
13 ヤクシソウ・タケニグサ群集	27 ハリエンジュ群落	41 造成地	
14 ニワウルシ群落	28 竹林	42 開放水域	

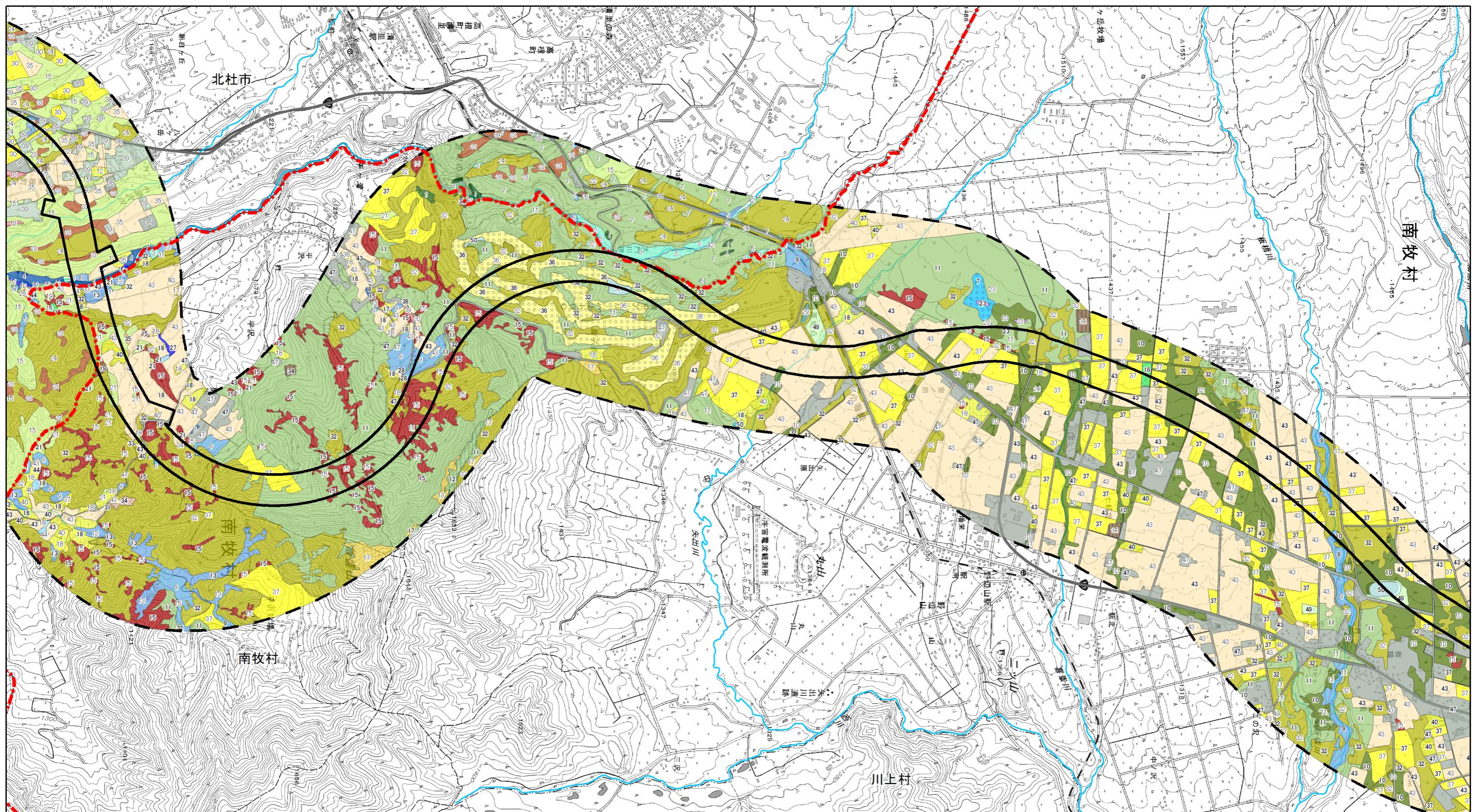
#### 植生凡例 (長野県)

01 ソガ群落	15 アカマツ群落	29 ヒシ群落	43 畑雜草群落
02 サワグルミ群落	16 カラコギカエテ群落	30 コナダモ群落	44 水田雜草群落
03 ハルニレ群落	17 ミヤコザサ群落	31 スギ・ヒノキ・サワラ植林	45 カサスゲ群落
04 オエヤナギ群落	18 ススキ群団	32 カラマツ植林	46 ガマ群落
05 ケヤマハンノキ群落	19 ツルヨシ群落	33 ハリエンジュ群落	47 市街地
06 アカシディイヌシテ群落	20 ハンノキ群落	34 伐採跡地	48 緑の多い住宅地
07 ミヤコザサミズナラ群集	21 ズミ群集	35 畑雜草群落	49 残存・植栽樹群をもつ公園、墓地等
08 オニグルミ群落	22 アズマネザサ群落	36 ゴルフ場	50 開放水域
09 ケヤキ二次林	23 ケヤマハンノキ群落	37 牧草地	51 自然裸地
10 アズマネザサ群落	24 タマゴカンバ群落	38 メヒシバ・エコロゴサ群落	
11 ミヤコザサ群落	25 ミヤコザサ群集	39 ヨモギ群落	
12 ススキ群団	26 ヨシ群落	40 オオブタクサ群落	
13 ヤクシソウ・タケニグサ群集	27 ツルヨシ群集	41 オオハングンソウ群落	
14 ニワウルシ群落	28 オギ群集	42 果樹園	



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-3 (2) 現存植生図



### 凡 例

- 事業実施区域
- 県境
- - - 調査地域

#### 植生凡例 (山梨県)

01 ウラジロモミ群落	15 クリーコナラ群集	29 芝地	43 畑雜草群落
02 ツガ群落	16 ヨシ群落	30 牧草地	44 水田雜草群落
03 ハルニレ群落	17 セリーカヨシ群集	31 オオブタクサ群落	45 カサスゲ群落
04 オノエヤナギ群落	18 カサスゲ群落	32 ハジヨンヒメカシヨギ群落	46 ガマ群落
05 ケヤマハンノキ群落	19 ツルヨシ群集	33 カナムグラ群落	47 市街地
06 アカシディイヌシテ群落	20 ヒシ群落	34 果樹園	48 緑の多い住宅地
07 ミヤコザサニマツナラ群集	21 コナダモ群落	35 畑雜草群落	49 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
08 オニグルミ群落	22 スギ・ヒノキ・サワラ植林	36 水田雜草群落	50 開放水域
09 ケヤキ二次林	23 アカマツ植林	37 放棄水田雜草群落	51 自然裸地
10 アズマネザサ群落	24 カラマツ植林	38 市街地	
11 ミヤコザサ群落	25 サクラモ栽培	39 緑の多い住宅地	
12 スキ群団	26 ワラジロモミ植林	40 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等	
13 ヤクシワータケニグサ群集	27 ハリエンジュ群落	41 造成地	
14 ニワウルシ群落	28 開放水域		

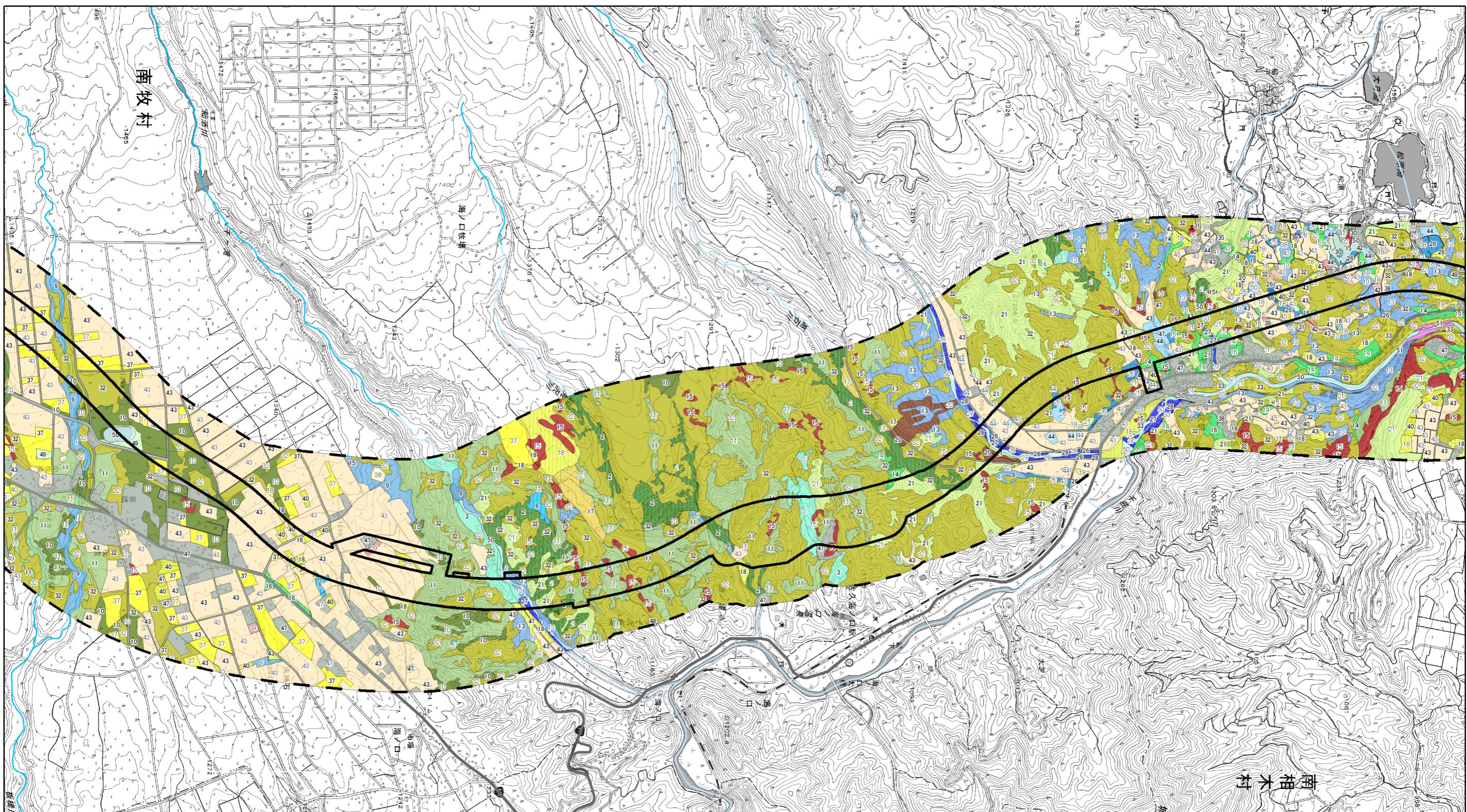
#### 植生凡例 (長野県)

01 ソガ群落	15 アカマツ群落	29 ヒシ群落	43 畑雜草群落
02 ハルニレ群落	16 カラコギカエテ群落	30 コナダモ群落	44 水田雜草群落
03 ハリニレ群落	17 ハリニレ群落	31 スギ・ヒノキ・サワラ植林	45 カサスゲ群落
04 オノエヤナギ群落	18 オオバアサガラ群落	32 カラマツ植林	46 ガマ群落
05 ケヤマハンノキ群落	19 ツルヨシ群集	33 ハリエンジュ群落	47 市街地
06 ハリニレ群落	20 ヒシ群落	34 ハラジロモミ植林	48 緑の多い住宅地
07 ミヤコザサニマツナラ群集	21 クリーコナラ群集	35 竹林	49 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
08 オニグルミ群落	22 アズマネザサ群落	36 ゴルフ場	50 開放水域
09 ケヤキ二次林	23 ハリエンジュ群落	37 牧草地	51 自然裸地
10 アズマネザサ群落	24 カラマツ群落	38 市街地	
11 ミヤコザサ群落	25 マツミクリ群落	39 緑の多い住宅地	
12 スキ群団	26 ミツガシワ群落	40 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等	
13 ヤクシワータケニグサ群集	27 ツルヨシ群集	41 オオハングンソウ群落	
14 ニワウルシ群落	28 オギ群集	42 果樹園	



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-3 (3) 現存植生図



### 凡 例

○ 事業実施区域  
□ 調査地域

植生例（長野県）		
01 ツガ群落	15 アカマツ群落	29 ヒン群落
02 サワグルミ群落	16 カラコギカエデ群落	30 コナダモ群落
03 ハルニレ群集	17 ミヤコザサ群落	43 畑雜草群落
04 オオバアサガラ群落	18 スキ群団	44 水田雜草群落
05 ヤチダモ群落	19 ヌルデ群落	45 カサスゲ群落
06 ハンノキ群落	20 伐採跡地	46 ガマ群落
07.ズミ群集	21.クリコナラ群集	47 市街地
08 オノエヤナギ群落	22.アズマネザサ群落	48 緑の多い住宅地
09 ケヤマハンノキ群落	23.ヌマガヤ群落	49 残存・植栽樹群をもつた公園、墓地等
10 ヤエガワカンバ群落	24.タマミクリ群落	50 開放水域
11 ミヤコザサミズナラ群集	25.ミツガシワ群落	51 自然裸地
12 ミヤコザサミズナラ群集(風衝林)	26.ヨン群落	
13 オニグルミ群落	27.ツルヨシ群集	
14 ケヤキニセ木	28.オギ群集	
	40.オオバクサ群落	
	41.オオハンゴンソウ群落	
	42.果樹園	

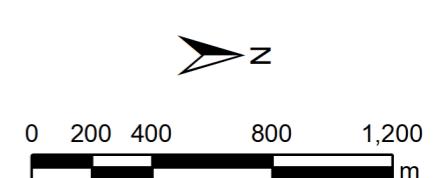
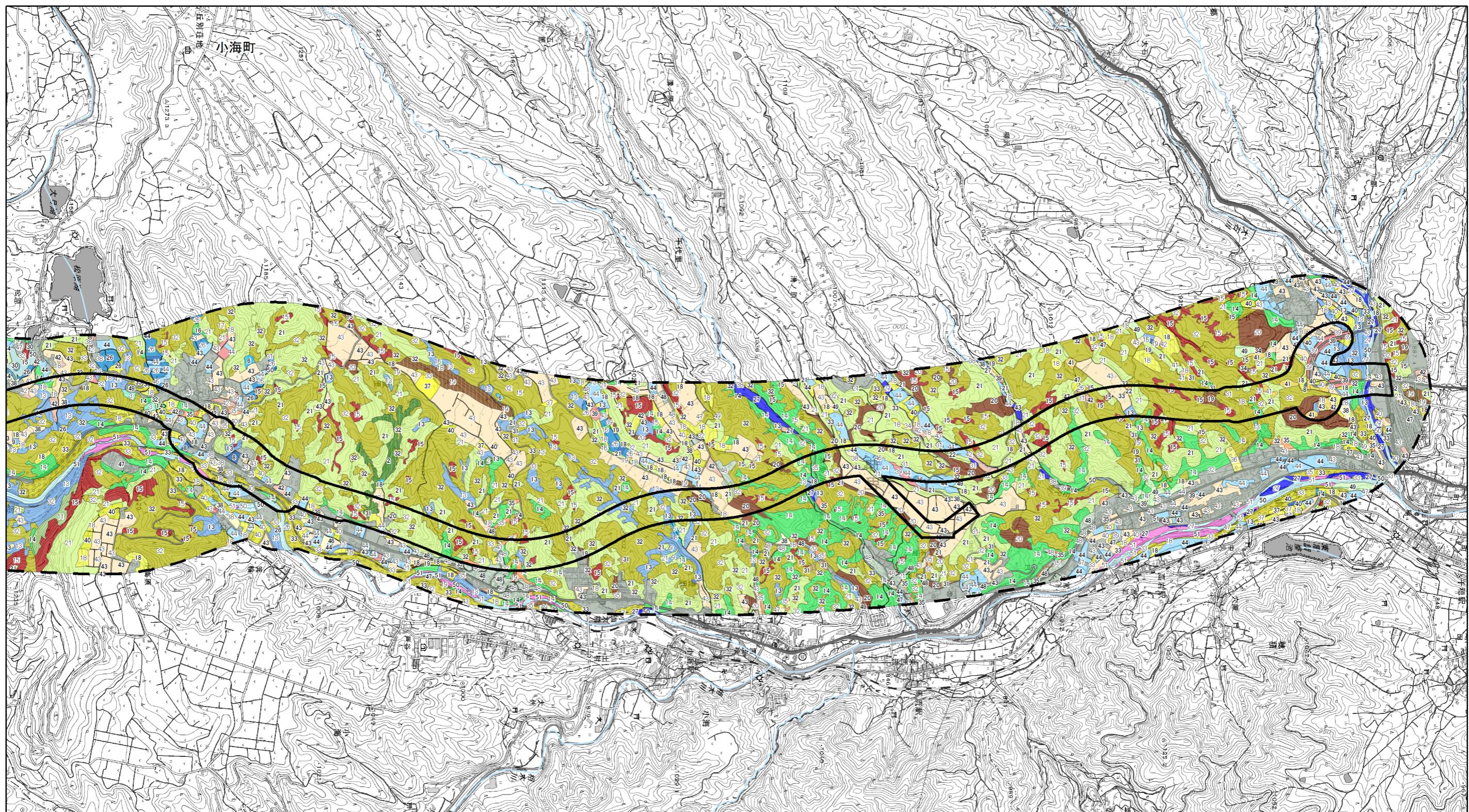


図 11.11.1-3 (4) 現存植生図



### 凡例

○ 事業実施区域  
□ 調査地域

植生凡例（長野県）		
01 ツガ群落	15 アカマツ群落	29 ヒン群落
02 サワグルミ群落	16 カラコギカエデ群落	30 コナダモ群落
03 ハルニレ群集	17 ミヤコザサ群落	31 スギ・ヒノキ・サワラ植林
04 オオバアサガラ群落	18 ススキ群団	32 カラマツ植林
05 ヤチダモ群落	19 ヌルデ群落	33 ハリエンジュ群落
06 ハンノキ群落	20 伐採跡地	34 ウラジロモミ植林
07.ズミ群集	21 クリコナラ群集	35 竹林
08 オノエヤナギ群落	22 アズマネザサ群落	36 ゴルフ場
09 ケヤマハンノキ群落	23 ヌマガヤ群落	37 牧草地
10 ヤエガワカンバ群落	24 タマミクリ群落	38 メヒシバ・エコロゴサ群落
11 ミヤコザサミズナラ群集	25 ミツガシワ群落	39 ヨモギ群落
12 ミヤコザサミズナラ群集(風衝林)	26 ヨン群落	40 オオブタクサ群落
13 オニグルミ群落	27 ツルヨシ群集	41 オオハンゴンソウ群落
14 ケヤキ二次林	28 オギ群集	42 果樹園



0 200 400 800 1,200  
m

図 11.11.1-3 (5) 現存植生図

## b)重要な種及び群落等の状況

### i)重要な種の状況

山梨県区間では、現地調査により確認された植物の重要な種は25科38種でした。

現地調査及び既存資料調査で確認された重要な植物種とその選定基準は表11.11.1-15に示すとおりです。

長野県区間では、現地調査により確認された重要な植物種は30科56種でした。現地調査及び既存資料調査で確認された重要な植物種とその選定基準は表11.11.1-16に示すとおりです。

表 11.11.1-15(1) 重要な植物種(山梨県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
1	シダ 植物	ヒカゲノカズラ	ヒメスギラン		●					CR
2			コスギラン		●					EN
3			チシマヒカゲノカズラ		●					EN CR
4			アスヒカズラ		●					VU
5		トクサ	トクサ		●					EN
6		ハナヤスリ	ヒメハナワラビ		●					VU EN
7			ヒロハハナヤスリ	●	●					EN
8			サンショウモ	●	●					NT NT
9		コバノイシカグマ	フジシダ		●					CR
10		イノモトソウ	ヒメウラジロ		●					NT CR
11			ミヤマウラジロ		●					VU
12			ヤツガタケシノブ		●					NT CR
13		ナヨシダ	ナヨシダ		●					VU
14			ウサギシダ		●					EN
15			エビラシダ		●					EN
16			イワウサギシダ		●					CR
17	チャセンシダ	ヒメイワトロノオ		●						EN
18		イチョウシダ		●					NT	CR
19		アオチャセンシダ		●						EN
20	ヒメシダ	タチヒメワラビ		●						EN
21		ハシゴシダ		●						VU
22	イワデンダ	トガクシデンダ		●						EN
23		コガネシダ		●	●					CR
24		シシガシラ	コモチシダ	●	●					VU
25	オシダ	キンモウワラビ	キンモウワラビ		●					NT CR
26		カラフトメンマ		●						VU
27		タカネシダ		●						CR EN
28		イナツルデンダ		●						CR
29	ウラボシ	ホテイシダ		●						VU
30		オオクボシダ		●						CR
31		カラクサシダ		●	●					CR
32		オシャグジデンダ		●	●					NT
33	裸子 植物	マツ	ヤツガタケトウヒ		●					EN CR
34			ヒメバラモミ		●					VU EN
35	ヒノキ	スギ		※1	●					EN
36		ミヤマビャクシン			●					EN
37	その他	スイレン	ヒツジグサ		●				指定	EN
38	単子葉 植物	サトイモ	ウラシマソウ		●					NT
39		チシマゼキショウ	チシマゼキショウ		●					EN
40		オモダカ	ヘラオモダカ	●	●					NT
41			アギナシ		●					NT VU
42		トチカガミ	スプタ		●					VU

表 11.11.1-15(2) 重要な植物種(山梨県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
43	单子葉 植物	ヒルムシロ	イトモ		●				NT	EN
44			フトヒルムシロ		●				VU	
45		ユリ	ムラサキタカネアオヤギソウ		●				CR	
46			カノコユリ		●				VU	
47			ホソバノアマナ	●	●				EN	
48		ラン	アマナ		●				NT	
49			エビネ		●				NT	VU
50			ギンラン	●	●				VU	
51			キンラン		●				NT	EN
52			サイハイラン		●				VU	
53			アツモリソウ		●	特一	特定	VU	CR	
54			ツチアケビ		●				EN	
55			ハクサンチドリ		●				EN	
56			アオチドリ		●				VU	
57			イチョウラン		●				EN	
58			コイチョウラン		●				EN	
59			トラキチラン		●				EN	CR
60			カモメラン		●		特定	NT	VU	
61			オニノヤガラ	●	●				VU	
62			シロテンマ	●					EN	VU
63			ツリシュスラン		●				CR	
64			テガタチドリ		●				VU	
65			ムカゴソウ		●				VU	EN
66			セイタカスズムシソウ		●				CR	
67			ジガバチソウ		●				VU	
68			スズムシソウ		●				EN	
69			ホザキイチョウラン		●				NT	
70			ノビネチドリ	●	●				EN	
71			ヒメムヨウラン		●				VU	VU
72			ミヤマモジズリ		●				NT	
73			コハクラン		●		国内		CR	CR
74			ヒロハトンボソウ		●				VU	CR
75			ミズチドリ		●				VU	
76			ヤマサギソウ		●				VU	VU
77			オオヤマサギソウ	●	●				CR	
78			トキソウ		●				NT	EW
79			ヤマトキソウ		●				EN	
80			ウチョウラン		●				NT	CR
81			ニヨホウチドリ		●		特定	NT	EN	
82			ヒツツボクロ	●	●				VU	
83	アヤメ	ヒオウギ	ヒオウギ		●				EN	
84			ヒメシャガ		●				NT	CR
85			カキツバタ		●				NT	
86		ススキノキ	ゼンティイカ		●				NT	
87			アツツキ	●					DD	
88		ヒガンバナ	ギョウジヤニンニク	※2					EN	
89			キツネノカミソリ		●				VU	
90			ヒメイズイ		●				NT	
91	ガマ	ミクリ			●				NT	CR
92		ナガエミクリ		●				NT	CR	
93		イグサ	ミヤマイ		●				NT	
94			エゾイトイ		●				CR	
95			クモマスズメノヒエ		●				NT	VU

表 11.11.1-15(3) 重要な植物種(山梨県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
96	单子葉植物	カヤツリグサ	ヒラギシスゲ		●					DD
97			カサスゲ	●	●					VU
98			ヒナスゲ		●					NT
99			ハマスゲ		●					NT
100			サギスゲ		●					CR
101			カンガレイ		●					VU
102			フトイ		●					EN
103			コマツカサススキ		●					CR
104			マツカサススキ		●					VU
105		イネ	ヒロハノハネガヤ		●					EN
106			ミヤマコウボウ		●					EN
107			アワガエリ		●					DD
108			タチイチゴツナギ		●					EN
109	双子葉植物	ケシ	ナガミノツルケマン	●					NT	DD
110			コマクサ		●					DD
111			オサバグサ		●					DD
112		メギ	ヘビノボラズ		●					EN
113			サンカヨウ		●					EN
114		キンポウゲ	ミチノクフクジュソウ		●				NT	EN
115			フクジュソウ		●					EN
116			キクザキイチゲ		●					EN
117			アズマイチゲ	●	●					EN
118			リュウキンカ		●					CR
119			カザグルマ	※3					NT	EN
120			オキナグサ		●				NT	EN
121			コキツネノボタン		●				VU	EN
122			バイカモ		●					VU
123			ヤツガタケキンポウゲ		●		特一			CR
124			ヒメカラマツ		●					CR
125		ボタン	ヤマシャクヤク	●	●				NT	NT
126			ベニバナヤマシャクヤク		●				特定	VU
-			ボタン属※4	●					※5	※5
127		スグリ	ヤシャビシャク		●				NT	EN
128			ユキノシタ	コガネネコメソウ	●					EN
129			コチャルメルソウ		●					EN
130			ヤワタソウ		●					EN
131			シコタンソウ		●					EN
132			ムカゴユキノシタ		●					CR
133			ジンジソウ		●					NT
134		ベンケイソウ	ツメレンゲ		●				NT	VU
135			イワレンゲ		●					VU
136		アリノトウグサ	アリノトウグサ	●	●					EN
137			タチモ		●					NT
138		マメ	タヌキマメ		●					CR
139			レンリソウ		●					EN
140			イヌハギ		●				NT	VU
141		ヒメハギ	ヒナノキンチャク		●				NT	CR
142			バラ	キンロバイ		●			VU	EN
143			エゾノコリンゴ		●					NT
144			アオナシ	●	●				VU	NT
145			サナギイチゴ	●					NT	
146			イワシモツケ		●					CR
147		ブナ	アカガシ		●					VU
148			カバノキ	ハンノキ	●	●				NT
149			ヤエガワカンバ	●	●				NT	NT
150			ハシバミ	●	●					VU

表 11.11.1-15(4) 重要な植物種(山梨県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
151	双子葉植物	ニシキギ	シラヒゲソウ		●					EN
152		カタバミ	オオヤマカタバミ		●					VU VU
153		ヤナギ	コマイワヤナギ		●					VU VU
154			シライヤナギ		●					VU
155		スミレ	コミヤマスミレ		●					VU
156			ミヤマスミレ		●					EN
157			ヒメスミレサイシン		●					NT
158		オトギリソウ	コオトギリ		●					NT
159			アゼオトギリ		●					EN
160		フウロソウ	アサマフウロ		●					NT VU
161		ミゾハギ	ミズマツバ	●						NT
162			ヒシ	●						DD
163		アカバナ	ウスグショウジタデ	●						NT DD
164		ムクロジ	カラコギカエデ	●	●					VU
165		アブラナ	フジハタザオ		●					NT
166			クモイナズナ		●					VU CR
167			コンロンソウ		●					NT
168			クモマナズナ		●					VU VU
169		オオバヤドリギ	ホザキヤドリギ		●					CR
170			マツグミ		●					EN
171		モウセンゴケ	モウセンゴケ		●					EN
172		ナデシコ	タガソデソウ		●					VU CR
173			タカネビランジ		●					特定 EN
174			オオビランジ		●					NT VU
175			シコタンハコベ		●					VU CR
176		ヤマゴボウ	ヤマゴボウ		●					CR
177		サクラソウ	クリンソウ	●	●					VU
178			ユキワリソウ		●					特定 CR
179			クモイコザクラ		●					特定 VU NT
180			コイワザクラ		●					VU
181			サクラソウ	●	●					NT VU
182	ツツジ		イワナンテン		●					VU
183			サツキ		●					CR
184			ダイセンミツバツツジ		●					VU
185			シロヤシオ		●					VU
186			バイカツツジ		●					NT
187			ハコネコメツツジ		●				特定	VU VU
188		アカネ	アリドオシ		●					CR
189			ツルアリドオシ		●					EN
190		リンゴ	ヒナリンゴ		●					CR
191			ハルリンゴ		●					EN
192	キョウチクトウ		エゾリンゴ		●					EN
193			センブリ	●	●					NT
194			ミヤマアケボノソウ		●					特定 CR
195			ムラサキセンブリ		●					NT EN
196			イヌセンブリ		●					NT
197			フナバラソウ		●					NT EN
198			コカモメヅル		●					EN
199			スズサイコ		●					NT VU
200		ヒルガオ	マメダオシ		●					EN EN
201		ナス	アオホオズキ		●					VU CR
202	モクセイ	ムラサキ	ムラサキ		●					EN EN
203			ヤチダモ		●					CR
204			ハンドイ		●					VU
205		オオバコ	イヌノフグリ		●					NT EN
206			カワヅシャ		●					NT NT

表 11.11.1-15(5) 重要な植物種(山梨県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
207	双子葉植物	シツ	カイジンドウ		●				VU	VU
208			ツルカコソウ		●				VU	CR
209			ニシキゴロモ		●					EN
210			ムシャリンドウ		●				VU	
211			キセワタ		●				VU	EN
212			マネキグサ		●				NT	EN
213			ヤマジソ		●				NT	
214			ミヅコウジュ		●				NT	VU
215		ハマウツボ	ナンバンギセル		●					DD
216			オオナンバンギセル		●					CR
217			オニク		●					CR
218			イブキコゴメグサ		●				VU	
219			タカネママコナ		●				VU	EN
220			エゾシオガマ		●					EN
221			ヒキヨモギ	●	●					EN
222	タヌキモ	ムシトリスミレ		●				特定		CR
223		タヌキモ		●				NT		CR
224	モチノキ	フウリンウメモドキ		●						VU
225	キキョウ	バアソブ		●	●			VU	EN	
226		キキョウ		●	●			NT	NT	
227	キク	タカネヤハズハハコ		●						EN
228		イワヨモギ	※6					VU		
229		タウコギ	●	●						EN
230		オオガングクビソウ		●						CR
231		タカアザミ	●						VU	
232		エゾムカシヨモギ		●						EN
233		アズマギク		●						CR
234		タカサゴソウ		●				VU		CR
235		オオモミジガサ		●						EN
236		アキノハハコグサ		●					EN	CR
237		ヒメヒゴタイ		●				VU		EN
238		キクアザミ		●						EN
239		コウリンカ		●				VU	NT	
240		オカオグルマ		●					VU	
241		タカネコウリンカ		●				NT	VU	
242		オナモミ		●				VU	VU	
243	セリ	ミシマサイコ		●				VU		
244		ドクゼリ		●						CR
245		ヤマナシウマノミツバ		●				EN	EN	
246		ヌマゼリ		●					NT	
247	ガマズミ	ゴマキ		●					VU	
248	スイカズラ	リンネソウ		●						CR
249		チシマヒヨウタンボク		●				VU	EN	
250		コゴメヒヨウタンボク		●					EN	
251		ニッコウヒヨウタンボク		●					EN	
252		ハヤザキヒヨウタンボク		●					EN	
253		オオベニウツギ		●					CR	
254		キバナウツギ		●					VU	
79 科 254 種				38	242	0	3	11	105	230

注 1：種名および種の配列は『河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和 6 年度版）』（令和 6 年 10 月 国土交通省）に準拠した。

注 2：重要な種選定基準は以下のとおり。

I : 「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号、最終改正：令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号）

及び「山梨県文化財保護条例」（昭和 31 年 4 月 9 日山梨県条例第 29 号、最終改正：令和 2 年 3 月 30 日山梨県条例第 5 号）等に基づいて指定されている天然記念物

特天：特別天然記念物， 国天：国指定天然記念物， 山天：山梨県指定天然記念物，

II : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号、最

終改正：令和元年 6 月 14 日法律第 37 号）

特一：特定第一種国内希少野生動植物種， 特二：特定第二種国内希少野生動植物種， 国内：国内希少野生動植物種， 国際：国際希少野生動植物種， 緊急：緊急指定種， 生息：生息地等保護区

III：「山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例」（平成 19 年 7 月 9 日山梨県条例第 34 号）

特定：特定希少野生動植物， 指定：指定希少野生動植物

IV：「第 5 次レッドリスト（植物・菌類）」（令和 7 年 3 月 環境省）

EX：絶滅， EW：野生絶滅， CR+EN：絶滅危惧 I 類， CR：絶滅危惧 IA 類， EN：絶滅危惧 IB 類， VU：絶滅危惧 II 類， NT：準絶滅危惧， DD：情報不足， LP：絶滅のおそれのある地域個体群

V：「2018 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物」（平成 30 年 3 月 山梨県）

EX：絶滅， EW：野生絶滅， CR+EN：絶滅危惧 I 類， CR：絶滅危惧 IA 類， EN：絶滅危惧 IB 類， VU：絶滅危惧 II 類， NT：準絶滅危惧， DD：情報不足， LP：絶滅のおそれのある地域個体群， N：要注目種， NLP：要注目地域個体群

※1：調査地域に生育するスギは植栽であるため、重要な種の対象外とした。

※2：確認された個体は栽培起源の逸出と考えられるため、重要な種の対象外とした。

※3：確認された個体は植栽または植栽起源の逸出と考えられるため、重要な種の対象外とした。

※4：茎葉が若いため種の同定に至らなかったが、本属の対象地域の分布からヤマシャクヤクまたはベニバナヤマシャクヤクのいずれかの可能性があることから、重要な種として扱った。

※5：重要な種の選定基準Ⅲではベニバナヤマシャクヤクが「特」、重要な種選定基準Ⅳではヤマシャクヤクが「NT」、ベニバナヤマシャクヤクが「VU」、重要な種選定基準Ⅴはヤマシャクヤクが「NT」、ベニバナヤマシャクヤクが「CR」として記載されている。

※6：調査地域に生育するイワヨモギは植栽または植栽起源の逸出であるため、重要な種の対象外とした。

表 11.11.1-16(1) 重要な植物種(長野県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
1	シダ 植物	ヒカゲノカズラ	ヤチスギラン		●					NT
2		イワヒバ	コケスギラン		●					CR
3		ミズニラ	ミズニラ		●				NT	EN
4			ヒメミズニラ		●				NT	EN
5		トクサ	イヌスギナ	●	●					NT
6		ハナヤスリ	オオハナワラビ		●					NT
7			ヒメハナワラビ		●				VU	NT
8		コケシノブ	チチブホラゴケ		●					EN
9		デンジソウ	デンジソウ		●				NT	EN
10		サンショウモ	オオアカウキクサ		●				EN	EN
11			アカウキクサ		●				EN	
12			サンショウモ		●				NT	VU
13		イノモツソウ	ヒメウラジロ		●				NT	VU
14			ヤツガタケシノブ		●				NT	EN
15			イトシシラン		●				CR	DD
16		ナヨシダ	エビラシダ	●	●					NT
17		チャセンシダ	シモツケヌリトラノオ		●					CR
18			トキワトラノオ		●				VU	
19			イチョウシダ		●				NT	NT
20		オシダ	オクヤマシダ		●					EN
21			イワカゲワラビ		●				VU	VU
22			イナデンダ		●				NT	EN
23			タカネシダ		●				CR	EN
24		ウラボシ	イワオモダカ	●	●					VU
25	裸子 植物	マツ	イラモミ		●					NT
26			ヒメマツハダ		●					VU
27			ヤツガタケトウヒ		●				EN	CR
28			ヒメバラモミ	●	●				VU	VU
29		ヒノキ	ミヤマビャクシン		●					VU
30		ジュンサイ	ジュンサイ		●					NT
31		ウマノスズクサ	マルバウマノスズクサ		●				VU	VU
32	単子葉 植物	サトイモ	ミニガタテンナンショウ		●					VU
33			ヤマトテンナンショウ		●					CR
34			ヒトツバテンナンショウ		●					NT
35			ヒンジモ		●				EN	CR
36		オモダカ	サジオモダカ		●					CR
37			アギナシ		●				NT	EN
38		トチカガミ	スブタ		●				VU	EN
39			ヤナギスブタ		●					NT
40			クロモ		●					CR
41			トチカガミ		●				NT	EX
42			イトトリゲモ	●					NT	CR
43			ホッスモ		●					CR
44			トリゲモ	●					VU	CR
45			ミズオオバコ		●				NT	VU
46	ヒルムシロ	ホソバヒルムシロ		●					VU	EN
47		イトモ	●	●					NT	VU
48		センニンモ		●						EN
49		ホソバミズヒキモ		●						NT
50		ヤナギモ		●						VU
51		ササバモ		●						EN
52		ユリ	ヒメアマナ		●				EN	CR
53			ヤマユリ	●	●			指定		NT
54			ホソバノアマナ	●	●					NT
55			ホトトギス		●					NT
56	ラン	ミスズラン		●	●	国内			CR	CR
57		キソエビネ		●					CR	CR

表 11.11.1-16(2) 重要な植物種(長野県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
58	単子葉植物	ラン	エビネ		●				NT	CR
59			ホテイラン		●			特別	EN	CR
60			ギンラン	●	●				NT	
61			キンラン		●			特別	NT	EN
62			アツモリソウ		●		国内	特別	VU	CR
63			キバナノアツモリソウ		●			指定	VU	EN
64			アオチドリ		●				CR	
65			イチョウラン		●				NT	
66			セッコク		●				CR	
67			カキラン		●				NT	
68			トラキチラン		●			EN	CR	
69			アオキラン		●			NT	CR	
70			カモメラン		●			NT	EN	
71			マツラン		●			VU	CR	
72			シロテンマ	●				EN		
73			ヒメミヤマウズラ		●				NT	
74			ミズトンボ		●			NT	VU	
75			ホザキイチョウラン		●				NT	
76			アリドオシラン		●				NT	
77			ヒメムヨウラン		●			VU	VU	
78			ヒメフタバラン		●				NT	
79			ミヤマフタバラン		●				VU	
80			コハクラン		●		国内		CR	CR
81			タカネフタバラン		●				EN	
82			コケイラン		●				NT	
83			サギソウ		●			指定	NT	CR
84			ヒロハトンボソウ	●	●			VU	EN	
85			ミズチドリ		●			指定		NT
86			イイヌマムカゴ		●				EN	
87			タカネサギソウ		●				VU	
88			オオバノトンボソウ		●				NT	
89			ナガバノキソチドリ		●				EN	
90			コバノトンボソウ		●				NT	
91			ミヤマチドリ		●				EN	
92			トキソウ		●			指定	NT	VU
93			ウチョウラン		●				NT	EN
94			ニヨホウチドリ		●				NT	EN
95			カヤラン		●			指定		CR
96			ヒトツボクロ	●	●					NT
97	アヤメ	カキツバタ			●				NT	NT
98	ススキノキ	ユウスグ	●	●						NT
99	クサスギカズラ	コウライワニグチソウ			●				NT	
100	ガマ	ホソバウキミクリ			●				VU	CR
101		ミクリ	●	●					NT	VU
102		タマミクリ	●	●					NT	VU
103		ヒメミクリ			●				VU	EN
104	ホシクサ	ホシクサ			●					VU
105		エゾイヌノヒゲ			●					CR
106	イグサ	ミヤマイ			●				NT	NT
107		エゾイトイ			●				CR	CR
108		タカネイ			●				NT	CR
109		クモマスズメノヒエ			●				NT	
110		ミヤマスズメノヒエ			●					VU
111	カヤツリグサ	タルマイスグ			●				VU	CR
112		ジョウロウスグ			●				VU	DD
113		アゼナルコ			●					EN
114		ヒナスグ			●					VU
115		ウマスグ			●					CR

表 11.11.1-16(3) 重要な植物種(長野県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
116	単子葉 植物	カヤツリグサ	ハタベスグ		●				EN	EN
117			アカンスグ		●				VU	CR
118			ヌマクロボスグ		●				VU	VU
119			ホソバオゼヌマスグ		●				NT	NT
120			エゾツリスグ		●				EN	
121			ツルカミカラスグ	●	●				EN	
122			コイトスグ	●	●				NT	
123			エゾハリスグ		●				EN	VU
124			ヌイオスグ		●				VU	N
125			アオガヤツリ		●				NT	
126			ヒメヒラテンツキ	●	●				NT	
127			ヒゲハリスグ		●				NT	VU
128			コホタルイ		●				EN	
129			ヒメマツカサススキ	●	●				EN	EN
130			コシンジュガヤ		●				VU	
131	イネ		ヒロハノハネガヤ	●					EN	
132			コウヤザサ		●				NT	
133			オニノガリヤス		●				CR	
134			イヌカモジグサ		●				EN	VU
135			エゾムギ		●				CR	NT
136			ウンヌケ		●				VU	
137			シナノカリヤスモドキ		●				EN	
138			ミノボロ		●				VU	
139			ヒロハヌマガヤ		●				NT	
140			タカネタチイチゴツナギ		●				VU	EN
141			イトイチゴツナギ		●				EN	
142			タニイチゴツナギ		●				DD	EN
143			タチイチゴツナギ		●				EN	
144			フォーリーガヤ		●				EN	EN
145	双子葉 植物		リシリカニツリ		●				VU	NT
146			ウシクサ		●				EN	
147			マツモ	マツモ (広義)	●				EN	
148			ケシ	ツルケマン	●				EN	EN
149			ナガミノツルケマン	●	●				NT	
150			ヤマブキソウ		●				VU	
151			メギ	オオバメギ	●				NT	
152			キンポウゲ	センウズモドキ	●	●			VU	VU
153				キタザワブシ		●			VU	NT
154				フクジュソウ		●			NT	
-				フクジュソウ属 <sup>※1</sup>	●				※1	※1
155				イチリンソウ		●			NT	
156				レンゲショウマ	●	●			NT	
157				エンコウソウ		●			VU	
158				カザグルマ	●			指定	NT	CR
159				キクバオウレン		●				EN
160				チチブシロカネソウ		●				NT
161				トウゴクサバノオ	●	●				EN
162				セツブンソウ		●			NT	VU
163				オキナグサ		●		指定	NT	EN
164				ツクモグサ		●		特別	EN	CR
165				ヒキノカサ		●			VU	VU
166				イチョウバイカモ		●				CR
167				ヤツガタケキンポウゲ		●	国内		CR	CR
168				ヒメカラマツ		●				VU
169				マンセンカラマツ		●			NT	N
170				シキンカラマツ		●				NT

表 11.11.1-16(4) 重要な植物種(長野県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
171	双子葉植物	キンポウゲ	イワカラマツ		●				VU	VU
172			ノカラマツ		●				VU	VU
173			キンバイソウ		●				NT	
174		ボタン	ヤマシャクヤク		●			指定	NT	VU
175			ベニバナヤマシャクヤク		●			指定	VU	EN
-			ボタン属 <sup>※2</sup>	●				※2	※2	※2
176		スグリ	ヤシヤビシャク		●				NT	VU
177			ユキノシタ	●	●					VU
178			ムカゴユキノシタ		●					CR
179		ヤフタソウ	ヤワタソウ		●				NT	
180			ジンジソウ	●						NT
181		ベンケイソウ	チチブベンケイ		●					CR
182			チチッパベンケイ		●					VU
183			アオベンケイ		●					EN
184			ツメレンゲ		●			NT	NT	
185			マルバマンネングサ		●					VU
186	アリノトウグサ	アリノトウグサ	フサモ		●					NT
187		マメ	リシリオウギ		●				VU	VU
188			モメンヅル		●				NT	
189			サイカチ		●				NT	
190			レンリソウ		●				NT	
191			イヌハギ		●			NT	N	
192			ヤマフジ		●					EN
193	イラクサ	イラクサ	タチゲヒカゲミズ	●	●				VU	VU
194		コケミズ	●	●					EN	
195	バラ	バラ	チョウセンキンミズヒキ	●	●				VU	NT
196			マメザクラ	●	●					NT
197			ハクロバイ		●					EN
198			キシロバイ		●				VU	EN
199			ウラジロキンバイ		●				VU	VU
200			ツチグリ		●				VU	
201			アオナシ	●	●				VU	N
202			ミチノクナシ		●				EN	
203			サナギイチゴ	●	●				NT	N
204	カバノキ	カバノキ	チチブミネバリ		●				VU	CR
205			ヤエガワカンバ	●	●				NT	NT
206			ジゾウカンバ		●					VU
207	ニシキギ	ニシキギ	シラヒゲソウ		●			指定		VU
208		カタバミ	オオヤマカタバミ		●				VU	NT
209		トウダイグサ	ノウルシ		●				NT	EN
210			ニシキソウ		●					VU
211		ヤナギ	コマイワヤナギ		●				VU	NT
212			チチブヤナギ		●					EN
213	スミレ	スミレ	タカネスミレ		●				NT	
214		タチスミレ		●				VU		
215		アマ		●					CR EN	
216	オトギリソウ	オトギリソウ	フジオトギリ		●					DD
217		ニッコウオトギリ		●					DD	
218		フウロソウ		●					EN EN	
219	ミソハギ	ミソハギ	カイフウロ		●					CR
220			イチゲフウロ		●					NT NT
221			アサマフウロ	●	●					
222		アカバナ	ミズマツバ		●				NT	VU
223			ヒメビシ		●				VU	CR
224	アオイ	アカバナ	エゾアカバナ		●					CR
225		ムクロジ	シバタカエデ		●				EN	EN
226		アオイ	カラスノゴマ		●					NT
227		ジンチョウゲ	チョウセンナニワズ		●				VU	NT
		アブラナ	ヘラハタザオ		●				CR	CR

表 11.11.1-16(5) 重要な植物種(長野県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
228	双子葉植物	アブラナ	キタダケナズナ		●				EN	
229			ハナハタザオ		●				CR	EX
230			クモマナズナ		●				VU	NT
231			ヤツガタケナズナ		●				EN	CR
232	タデ	タデ	ハルトラノオ		●					NT
233			ナガバノウナギツカミ		●				NT	
234			サデクサ		●				CR	
235			ウナギツカミ		●				DD	
236			ヌカボタデ		●				VU	DD
237			ホゾバイヌタデ		●				NT	
238			ノダイオウ		●				VU	N
239	ナデシコ	ナデシコ	タガソデソウ		●				VU	NT
240			ナンブワチガイソウ		●				VU	CR
241			オオビランジ		●				NT	VU
242			ビランジ		●				EN	
243			エンビセンノウ		●			指定	VU	EN
244			エゾオオヤマハコベ		●				EN	
245			シコタンハコベ		●				VU	NT
246			アオハコベ		●					CR
247			ヒュ	ミドリアカザ	●				CR	NT
248	アジサイ	アジサイ	ウメウツギ		●				VU	
249			ギンレイカ		●					NT
250			ノジトラノオ		●				VU	VU
251			クモイコザクラ		●			指定	VU	CR
252			コイワザクラ		●			指定	VU	CR
253			サクラソウ	●	●			指定	NT	VU
254			ツマトリソウ		●					EN
255	ハイノキ	ハイノキ	クロミノニシゴリ		●					EN
256			ヨウラクツツジ		●				VU	
257			アカヤシオ		●					NT
258			ハコネコメツツジ		●				VU	CR
259	アカネ	アカネ	ハナムグラ	●	●				VU	CR
260			ヤツガタケムグラ		●				EN	VU
261			フタバムグラ		●					CR
262	リンドウ	リンドウ	ヒナリンドウ		●				CR	CR
263			コケリンドウ		●					CR
264			オノエリンドウ		●				EN	NT
265			ハルリンドウ	●	●					NT
266			ヒメセンブリ		●		国内		EN	CR
267			ホソバノツルリンドウ		●				VU	NT
268			センブリ	●	●					NT
269			ムラサキセンブリ		●				NT	VU
270	キョウチクトウ	キョウチクトウ	フナバラソウ		●				NT	VU
271			コカモメヅル		●					NT
272			ツルガシワ		●					CR
273			スズサイコ	●	●				NT	NT
274			コバノカモメヅル		●					EN
275	ヒルガオ	ヒルガオ	マメダオシ		●				EN	CR
276			ナス	ハダカホオズキ	●					VU
277	ムラサキ	ムラサキ	サワルリソウ	●						NT
278			イヌムラサキ		●					CR
279			ムラサキ		●				EN	CR
280			ツルカメバソウ	●	●				EN	NT
281	オオバコ	オオバコ	サワトウガラシ		●					NT
282			ウルップソウ		●				NT	EN
283			アブノメ		●					CR
284			イヌノフグリ		●				NT	VU
285			ルリトラノオ		●				VU	

表 11.11.1-16(6) 重要な植物種(長野県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
286	双子葉 植物	オオバコ	カワヂシャ		●				NT	NT
287		ゴマノハグサ	オオヒナノウスツボ	●	●					NT
288		アゼナ	アゼトウガラシ		●					NT
289		シソ	カイジンドウ		●				VU	NT
290			ツルカコソウ		●			VU	NT	
291			タニジャコウソウ		●			NT		
292			ミヤマクルマバナ		●				NT	
293			ムシャリンドウ		●			VU	VU	
294			フトボナギナタコウジュ		●				VU	
295			チシマオドリコソウ	●	●				VU	
296			アキチヨウジ		●				VU	
297			タイリンヤマハッカ		●				NT	
298			メハジキ	●	●				NT	
299			キセワタ		●			VU	N	
300			シナノアキギリ	●	●			VU	VU	
301			ヤマジソ	●	●			NT	NT	
302			ミゾコウジュ		●			NT	CR	
303			エゾタツナミソウ		●				VU	
304			ミヤマナミキ		●				VU	
305	ハマウツボ		オニク		●				NT	
306			タカネママコナ		●			VU	NT	
307			ツシマママコナ		●				NT	
308			ヒキヨモギ	●	●				NT	
309	タヌキモ		イヌタヌキモ		●			NT	NT	
310			タヌキモ		●			NT	CR	
311			ヒメタヌキモ		●			NT	VU	
312	キキョウ		ミョウギシャジン		●				EN	
313			ツルギキョウ		●			VU		
314			バアソブ		●			VU	N	
315			キキョウ		●			NT	NT	
316	ミツガシワ		アサザ		●			NT	VU	
317		キク	トダイハハコ	●	●			VU	NT	
318			イワヨモギ		●			VU		
319			ミヤマヨメナ		●				VU	
320			タカネコンギク		●				NT	
321			シオン		●			VU		
322			カントウヨメナ		●				VU	
323			アワコガネギク	●	●			NT	NT	
324			ミヤマホソエノアザミ	●	●				VU	
325			キセルアザミ		●				VU	
326			アズマギク		●				VU	
327			タカサゴソウ		●			VU	VU	
328			オオニガナ		●				NT	
329			テバコモミジガサ		●				NT	
330			アキノハコグサ		●				EN	NT
331			ホクチアザミ		●					EN
332			ミヤコアザミ		●					NT
333			キリガミネトウヒレン		●					NT
334			ヒメヒゴタイ		●			VU	VU	
335			ヤマボクチ		●					VU
336			キビシロタンボポ		●					VU
337			コウリンカ	●	●			VU	N	
338			タカネコウリンカ		●				NT	NT
339			オナモミ		●				VU	VU
340	ウコギ		ミヤマウコギ		●					CR
341	セリ		イワニンジン		●					EN
342			ミヤマニンジン		●					VU

表 11.11.1-16(7) 重要な植物種(長野県)

番号	分類	科名	種名	確認状況		重要な種選定基準				
				現地	文献	I	II	III	IV	V
343	双子葉 植物	セリ	ヤマナシウマノミツバ		●				EN	VU
344			クロバナウマノミツバ		●					NT
345			ヌマゼリ		●				NT	
346		スイカズラ	クロミノウグイスカグラ		●					VU
347			マルバヨノミ		●					EN
348			チシマヒヨウタンボク		●				VU	CR
349			コゴメヒヨウタンボク		●				EN	NT
350			ヤブヒヨウタンボク		●		国内		EN	
351			ハナヒヨウタンボク	●	●				VU	VU
352			ニッコウヒヨウタンボク		●					EN
353			オニヒヨウタンボク		●				VU	NT
354			ツキヌキソウ		●			指定	VU	VU
355			カノコソウ		●					EN
356			ツルカノコソウ		●					EN
357			キバナウツギ		●					EN
83科 357種				56	350	0	6	20	190	332

注 1:種名および種の配列は『河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和6年度版)』(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

注 2: 重要な種選定基準は以下のとおり。

I :「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号、最終改正:令和3年4月23日法律第22号)及び「文化財保護条例」(昭和50年12月25日 長野県条例第44号、最終改正:令和5年12月25日長野県条例第26号)等に基づいて指定されている天然記念物

特天:特別天然記念物 国天:国指定天然記念物 県天:県指定天然記念物

II :「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日 法律第75号)、最終改正:令和元年6月14日法律第37号)

特一:特定第一種国内希少野生動植物種、特二:特定第二種国内希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種 国際:国際希少野生動植物種、緊急:緊急指定種、生息:生息地等保護区

III :「長野県希少野生動植物保護条例(平成15年3月24日 長野県条例第32号)

特別:特別指定希少野生動植物 指定:指定希少野生動植物

IV :「第5次レッドリスト(植物・菌類)の公表について」(令和7年3月 環境省)

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA類 EN:絶滅危惧 IB類 VU:絶滅危惧 II類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

V :「長野県版レッドリスト(植物編)2014」(平成26年3月 長野県)

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA類 EN:絶滅危惧 IB類 VU:絶滅危惧 II類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群 N:留意種

※1:フクジュソウあるいはミチノクフクジュソウの可能性があり、現地調査時に開花・結実個体の形態的特徴から種の同定を試みたが、形態的に中間的なものが多く区別が困難であったため、フクジュソウ属とした。重要な種の選定基準IVではミチノクフクジュソウ「NT」、Vではフクジュソウが「NT」、ミチノクフクジュソウが「N」として掲載されている。

※2:ヤマシャクヤクまたはベニバナヤマシャクヤクのいずれかの可能性があるが、各種の特徴を示す茎葉が若かったため、種の同定に至らなかった。重要な種の選定基準IIIではヤマシャクヤク、ベニバナヤマシャクヤクとも「指」、IVではヤマシャクヤクが「NT」、ベニバナヤマシャクヤクが「VU」、Vではヤマシャクヤクが「VU」、ベニバナヤマシャクヤクが「EN」として掲載されている。

### iii)重要な群落等の状況

山梨県区間では、現地調査により確認された重要な群落等は2箇所でした。現地調査は、位置情報が既存資料で明らかな場所、または推定できる場所を対象にして実施し、不明な場所についても植物相調査時に可能な限り確認に努めました。現地調査及び既存資料調査による重要な群落等とその選定基準は、表 11.11.1-17 に示すとおりです。

長野県区間では、現地調査により確認された重要な群落等は4箇所でした。現地調査及び既存資料調査で確認された重要な群落等とその選定基準は、表 11.11.1-18 に示すとおりです。

表 11.11.1-17 重要な群落等一覧(山梨県)

番号	名称	確認状況		重要な群落等選定基準		
		現地	文献	I	II	III
1	美し森山のレンゲツツジ群落（北巨摩郡大泉町）		●		3	○
2	清里のザゼンソウ群落（北巨摩郡高根町）	●	●		3	○
3	清里のカラコギカエデ（北巨摩郡高根町）	●	●		3	○
4	清里高原を中心としたアオナシ（北巨摩郡高根町）		●		3	○
5	キヨサトコザクラ（位置非公開）		●			○
6	ムシトリスミレ（位置非公開）		●			○
7	リュウキンカ群落（北巨摩郡大泉町）		●		4	○
8	フジシダ群落（北巨摩郡須玉町）		●		3	
9	富士見平のシラカバ林（北巨摩郡須玉町）		●		1	
10	金山沢のハシドイ林（北巨摩郡須玉町）		●		2	
11	クモイコザクラ群落（北巨摩郡須玉町）		●		4	
12	江草岩下のフクジュソウ（北巨摩郡須玉町）		●		2	
合計群落等数：12		2	12	0	10	7

注 1：重要な植物群落等の選定基準は以下のとおり。

I : 「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号、最終改正：令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号) 及び「山梨県文化財保護条例」(昭和 31 年 4 月 9 日山梨県条例第 29 号、最終改正：令和 2 年 3 月 30 日山梨県条例第 5 号)、「北杜市文化財保護条例」(平成 16 年 11 月 1 日北杜市条例第 113 号) 等に基づいて指定されている天然記念物

特天：特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、山天：山梨県指定天然記念物、北天：北杜市指定天然記念物

II : 「植物群落レッドデータブック」(平成 8 年 (財) 日本自然保護協会・(財) 世界自然保護基金日本委員会)

1:要注意、2:破壊の危惧、3:対策必要、4:緊急に対策必要

III : 「第 1 回自然環境保全基礎調査 山梨県のすぐれた自然図」(昭和 51 年 環境庁)

「第 1 回自然環境保全基礎調査 長野県のすぐれた自然図」(昭和 51 年 環境庁)

「日本の重要な植物群落(甲信越版)」(昭和 55 年 2 月 15 日 環境庁)

「日本の重要な植物群落 II (甲信越版)」(昭和 63 年 8 月 30 日 環境庁自然保護局生物多様性センター)

「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 環境庁)

○ : 植物群落、特定植物群落

注 2 : 1、4、7、12 は調査地域外の確認。

表 11.11.1-18 重要な群落等(長野県)

番号	名称	確認状況		重要な群落選定基準			
		現地	文献	I	II	III	VI
1	霧久保沢の渓谷林		●		2	○	
2	八ヶ岳東山麓の湿原群	●	●		3	○	
3	湯川のサワグルミ林 (ジュウモンジシダ・サワグルミ群集)		●		2	○	
4	八ヶ岳の自然植生 (亜高山帯から高山帯の各種群落)		●			○	
5	矢出川(西川)流域の湿地植生	●	●		2	○	
6	八ヶ岳山麓のサラサドウダン群落) (山の神のサラサドウダン群落)		●	県天	1	○	
7	ハンノキ群落(南佐久郡南牧村)	●	●		2		
8	ヌマガヤ群落(南佐久郡南牧村)	●	●		2		
9	御座山の針葉樹林(南佐久郡南相木村)		●		2		
10	金峰山の原生林(南佐久郡川上村)		●		2		
11	矢出川湿原のタルマイスグ群落		●				○
12	松原湖のアザザ群落		●				○
合計群落数: 12		4	12	1	9	6	2

注 1: 重要な群落の選定基準は以下のとおり。

I : 「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号、最終改正: 令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号) 及び「文化財保護条例」(昭和 50 年 12 月 25 日 長野県条例第 44 号、最終改正: 令和 5 年 12 月 25 日長野県条例第 26 号)、「小海町文化財保護条例」(昭和 41 年 3 月 17 日 小海町条例第 8 号)、「南牧村文化財保護条例」(昭和 47 年南牧村条例第 45 号、最終改正: 平成 26 年 3 月 18 日南牧村条例第 11 号)、「佐久穂町文化財保護条例」(平成 17 年 3 月 20 日佐久穂町条例第 76 号)

特天: 特別天然記念物, 国天: 国指定天然記念物, 県天: 長野県指定天然記念物, 小天: 小海町指定天然記念物, 南天: 南牧村指定天然記念物, 佐天: 佐久穂町指定天然記念物

II : 「植物群落レッドデータブック」(平成 8 年 4 月 15 日 (財) 日本自然保護協会・(財) 世界自然保護基金日本委員会ほか)

1:要注意、2:破壊の危惧、3:対策必要、4:緊急に対策必要

III : 「第 1 回自然環境保全基礎調査 長野県のすぐれた自然図」(昭和 51 年 環境庁)

「日本の重要な植物群落(甲信越版)」(昭和 55 年 2 月 15 日 環境庁)

「日本の重要な植物群落 II (甲信越版)」(昭和 63 年 8 月 30 日 環境庁)

「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 3 月 環境庁自然保護局生物多様性センター)

○ : 植物群落、特定植物群落

IV : 「長野県版レッドリスト(植物編) 2014」(平成 26 年 3 月 長野県)

○ : 植物群落保護上の重要性が極めて高いもの

植物群落保護上の重要性が高いもの

植物群落保護の必要性が考えられるもの

注 2: 1, 3, 4, 6, 9, 10, 11, 12 は調査地域外の確認。